

令和7年度第2回朝霞市子ども・子育て会議 次第

日 時：令和7年8月22日（金）
午後2時から午後4時まで
場 所：朝霞市役所 別館5階
大会議室（手前）

1 開 会

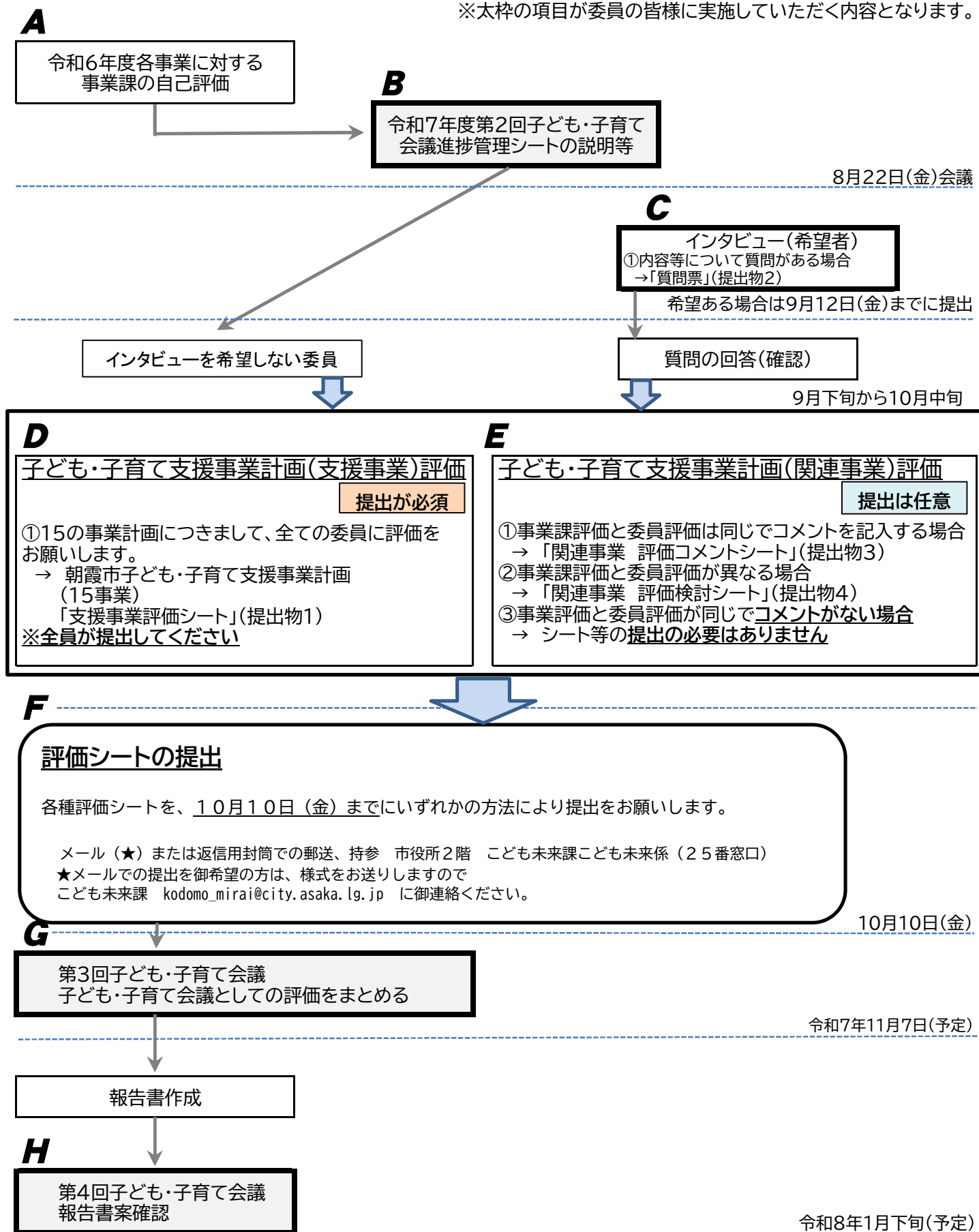
2 議 題

- （1）第2期朝霞市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理について
- （2）公立保育園の今後のあり方について
- （3）朝霞市育成保育等実施要綱及び医療的ケア児の保育園等受入れガイドラインの改正について
- （4）その他

3 閉 会

朝霞市子ども・子育て支援事業計画 評価フローチャート

※太枠の項目が委員の皆様の実施していただく内容となります。



朝霞市子ども・子育て支援事業計画 支援事業 進捗状況一覧

※R6 進捗状況（事業課の自己評価）の目安について

- A：着実に進捗している。予算執行状況が80%以上、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が80%以上であり、総合的に勘案して着実に進捗していると判断できる場合。
- B：ある程度進捗している。予算執行状況が60%～79%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が60%～79%であり、総合的に勘案してある程度進捗していると判断できる場合。
- C：進捗が順調でない。予算執行状況が40%～59%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が40%～59%であり、総合的に勘案して進捗が順調でないとは判断できる場合。
- D：進捗していない。予算執行状況が39%以下、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が39%以下であり総合的に勘案して進捗していないと判断できる場合。

事業 番号	事業名	担当課	進捗状況				
			R2	R3	R4	R5	R6
5	幼児期の学校教育・保育の提供	保育課	A	A	A	A	A

6 地域子ども・子育て支援事業の充実

6-(1)	延長保育事業（時間外保育事業）	保育課	A	A	A	A	A
6-(2)	放課後児童クラブ	保育課	A	A	B	B	C
6-(3)	子育て短期支援事業（ショートステイ事業）	健康づくり課 （こども家庭センター）	A	A	A	A	A
6-(4)	乳児家庭全戸訪問事業	健康づくり課 （こども家庭センター）	A	A	A	A	A
6-(5)	養育支援訪問事業及び要保護児童支援事業	健康づくり課 （こども家庭センター）	B	A	A	A	B
6-(6)	地域子育て支援拠点事業	保育課	B	B	A	A	A
6-(7)-①	一時預かり事業（幼稚園）	保育課	A	A	A	A	A
6-(7)-②	一時預かり事業（保育園等）	保育課	A	A	B	A	A
6-(8)	病児保育事業	保育課	A	A	B	B	A
6-(9)	ファミリー・サポート・センター事業	健康づくり課 （こども家庭センター）	A	A	A	A	A
6-(10)	妊婦健康診査	健康づくり課 （こども家庭センター）	A	A	A	A	A
6-(11)	利用者支援事業	健康づくり課 （こども家庭センター）	A	A	A	A	A
6-(12)	実費徴収に係る補足給付を行う事業	保育課	B	B	B	B	B
6-(13)	多様な事業者の参入促進・能力活用事業	保育課	A	A	A	A	A

朝霞市子ども・子育て支援事業計画
【支援事業】

進捗管理シート
(令和6年度事業)

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート

部名	こども・健康部	課名	保育課			事業番号	5									
基本方針	幼児期の学校教育・保育の提供															
事業名	幼児期の学校教育・保育の提供															
事業概要	乳幼児に対する学校教育や保育を適切に提供できるように、保護者のニーズに基づき、幼稚園、保育所、小規模保育事業などの基盤整備を進めます。															
市の現状	入所者数(幼稚園5月1日、その他は4月1日)															
		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度						
	幼稚園	2,242人		2,250人		2,206人		2,210人		2,152人						
	保育園、認定こども園	2,397人		2,556人		2,718人		2,867人		3,048人						
	小規模保育事業	113人		177人		237人		254人		352人						
	家庭保育室	92人		107人		59人		33人		6人						
事業の見込み、 確保内容及び実績	幼児期の学校教育【幼稚園・認定こども園】(1号認定、新1号認定)															
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度						
	量の見込み (必要利用定員総数)	1,650人		1,650人		1,650人		1,650人		1,650人						
	確保の内容 (幼稚園・認定こども園)	1,650人		1,650人		1,650人		1,650人		1,650人						
	実績	2,140人		2,140人		2,140人		2,140人		2,140人						
	幼児期の保育【保育園・認定こども園】(2号認定、新2号認定、3号認定)															
		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度						
		2号	3号		2号	3号		2号	3号		2号	3号				
			0歳	1・2歳		0歳	1・2歳		0歳	1・2歳		0歳	1・2歳			
	量の見込み (必要利用定員総数)	2,285	383	1,429	2,330	385	1,450	2,330	385	1,449	2,330	385	1,459	2,330	385	1,477
	確保の内容(保育所・認定こども園・幼稚園及び預かり保育)	2,285	239	983	2,330	242	995	2,330	242	995	2,330	242	995	2,330	242	995
	確保の内容 (小規模保育事業等)	—	86	321	—	89	337	—	92	353	—	95	369	—	98	385
	確保の内容 (その他)	—	58	125	—	54	118	—	51	101	—	48	95	—	45	97
実績	2,543	336	1,404	2,527	329	1,472	2,590	300	1,464	2,690	303	1,503	2,634	294	1,469	
確保の方策	本市の就学前児童数は減少傾向ですが、待機児童が依然としてあるため、保育所や小規模保育事業等の定員拡大を行い、待機児童の解消に努めます。さらに、幼稚園の預かり保育事業に補助金を交付することで幼稚園の利用促進を図ります。 また、令和元(2019)年10月より幼児教育・保育無償化が開始されたことにより、保育所や幼稚園の3歳児～5歳児クラスの保育料が無料となり、幼稚園については、預かり保育事業の利用料も無償化の対象となるため、保護者のニーズに合わせて幼稚園、保育所、小規模保育事業等の活用を推進します。															
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	適切な定員設定として、令和5年4月入所に引き続き、令和6年4月入所の定員について公設保育園の0歳児受入人数を減少して設定(受入減により翌年度1歳児としての受入増に繋がる内容)。 また、待機児童解消に向けて、小規模保育施設1施設の令和7年4月に開所する手続きを進めた。															
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得られた成果	受入定員 4,045人(令和7年4月1日) 保育園 3,451人 認定こども園 147人 小規模 440人 事業所内 7人 入所児童 3,864人(令和7年4月1日時点) 保育園 3,275人 認定こども園 148人 小規模 411人 事業所内 29人 居宅訪問型 1人 待機児童 9人(R7年4月)、17人(R6年4月)、9人(R5年4月)													
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)																
推進に関する課題	保育園を希望する家庭が多い中、待機児童の解消に至っていない。															
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続に加え、待機児童の発生要因を分析し、各年齢による定員配分の見直しを行うなど、待機児童の解消に向けた取組を行う。															
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント														

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(1)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	延長保育事業(時間外保育事業)					
事業概要	保育所等を利用するフルタイム勤務の共働き世帯数や通勤時間を含む勤務時間等の状況から、保育時間のニーズを把握し、延長保育の充実を進めます。					
	延長保育事業の実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	年間利用者数 (午後6時以降延べ人数)	184,239人	190,244人	196,034人	178,819人	163,690人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	1,549人	1,524人	1,522人	1,518人	1,536人
	確保の内容	3,514人	3,593人	3,612人	3,631人	3,650人
	実績	3,861人	3,915人	3,941人	4,083人	3,997人
確保の方策	延長保育事業は、各保育所等における保育標準時間として提供される11時間の保育時間を超える時間帯に提供される保育であり、各施設において設定している延長時間を含む開園時間は、保護者のニーズに応えることができるようにします。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	保育園の開所時間を午後7時まで時間延長(一部の園では午後8時まで)する。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得られた成果	市内保育施設数: 72 延長保育実施数 午後7時まで: 41 午後7時30分まで: 13 午後8時まで: 18			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	延長保育料(基本保育時間外)の設定					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(2)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	放課後児童クラブ					
事業概要	就労等により、昼間家庭に保護者のいない小学生の児童を対象に、放課後や長期休暇中に、保護者に代わって保育の場を提供するものです。					
市の現状	放課後児童クラブ実績					
	入所者数(4月1日時点)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	1～3年生	1,045人	1,211人	1,293人	1,373人	1,486人
	4～6年生	96人	52人	53人	66人	85人
	合計	1,141人	1,263人	1,346人	1,439人	1,571人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(1～3年生)	1,580人	1,600人	1,620人	1,640人	1,660人
	量の見込み(4～6年生)	190人	190人	190人	190人	190人
	量の見込み(合計)	1,770人	1,790人	1,810人	1,830人	1,850人
	確保の内容	1,650人	1,730人	1,770人	1,810人	1,850人
	実績	1,643人	1,765人	1,765人	1,834人	1,854人
確保の方策	放課後児童クラブは、市の事業として、小学校の隣接地等に保育室を設置し、実施してきましたが、利用希望者の増加により待機児童が発生していることから、平成29(2017)年度からは、民間事業者が運営する放課後児童クラブを誘致するなど、整備を行ってきました。 今後においても、利用希望者が入所できるよう各種施策の検討を行います。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	仕事などで昼間保護者のいない子どもを対象に、主に放課後、保育を行いました。 民間クラブ12クラブへの運営費補助金の交付や、公設クラブ10クラブへの指定管理料の支給等を行うとともに、令和6年度においては、民間クラブ1支援単位を増設し、定員10人を確保したほか、民間クラブ2支援単位の定員を見直し、定員15人を増員しました。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	C	事業の実施 により得られた成果	放課後児童クラブ数 22か所 入所者数 1,786人(令和6年4月入所) 1,776人(令和5年4月入所) 1,712人(令和4年4月入所) 入所待機者数 225人(令和6年4月) 64人(令和5年4月) 69人(令和4年4月)			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	令和6年度に、民間クラブの整備等により定員の拡大を図ったが、入所待機者数が増加しているため。					
推進に関する課題	民間クラブの定員拡大など、入所保留児童対策に努めているが、入所保留児童の解消には至っていない。					
令和7年度以降の具体的な 取り組み (どんなことを予定しているか)	放課後児童クラブにおいては、大規模開発などで子育て世帯の転入等もあり、令和7年4月1日現在で、第二小学校や第六小学校などでは待機児童が多い一方で、第十小学校では待機児童がいないなど、小学校ごとに需要にばらつきがあります。今後は、児童の放課後の居場所づくりという視点で関係している庁内関係課と引き続き、放課後子ども教室の実施などの対策を行います。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	健康づくり課(こども家庭センター)		事業番号	6-(3)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)					
事業概要	子育て短期支援事業は、保護者の疾病や仕事などにより、児童の養育が一時的に困難になった場合などに、市内里親宅で一時的に児童を預かる事業です。					
市の現状	子育て短期支援事業の実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	年間利用者数(延べ数)	96人/年	65人/年	48人/年	65人/年	97人/年
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(延べ数)	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年
	確保の内容(延べ数)	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年	70人/年
	実績	87人/年	58人/年	95人/年	92人/年	90人/年
確保の方策	所沢児童相談所の里親認定調査に同行し、里親認定登録前から里親との関係づくりや養育環境の確認をしている。里親認定登録後、朝霞市地区里親会の協力により、市内里親へ事業の委託契約の依頼をしている。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	保護者の育児疲れ、疾病、仕事などの理由により、児童の養育が一時的に困難になった場合に、委託里親宅で一定期間の養育を行った。 市内里親家庭10世帯と委託契約を締結し、うち5世帯に委託を行った。 委託里親を増やすため、市役所1階市民ホールにて、里親制度をPRするためのパネルを設置し、ショートステイ事業と里親制度の普及啓発を行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施 により得られた成果	年間利用者数(延べ数)26人 令和6年度委託里親数 目標値 5世帯 実績値 5世帯 ショートステイ受入日数 実績値 90日間			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	ショートステイ事業の継続実施のため、より多くの新規委託里親を確保すること。 ショートステイ事業や里親制度について、市民への広報を行うこと。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業を継続しつつ、委託里親を確保するために里親制度の広報啓発を行う。 委託里親の資質向上のため、市主催研修への参加依頼など、研修機会を設ける。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	子ども・健康部	課名	健康づくり課（こども家庭センター）		事業番号	6-(4)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	乳児家庭全戸訪問事業					
事業概要	乳児家庭全戸訪問事業は、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭〔新生児訪問（生後2か月まで）を含む〕を訪問し、子育て支援情報の提供や養育環境等の把握を行い、必要なサービスにつなげる事業です。					
市の現状	乳児家庭全戸訪問の実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	出生者数	1,368人	1,370人	1,317人	1,339人	1,264人
	乳児家庭全戸訪問数	1,244人	1,259人	1,219人	1,254人	1,234人
	訪問率(%)	90.9%	89.9%	87.1%	89.6%	97.6%
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(訪問人数)	1,251人	1,168人	1,185人	1,300人	1,300人
	確保の内容(訪問人数)	1,251人	1,168人	1,185人	1,300人	1,300人
	確保の内容(訪問率)	100%	100%	100%	100%	100%
	訪問人数実績	1,186人	1,109人	1,197人	1,118人	1,047人
	訪問率実績	94.8%	94.9%	101.2%	96.00%	—
確保の方策	対象者の把握については、出生後に提出される出生連絡票（お誕生はがき）と生後3か月で出生連絡票が提出されていない家庭の抽出によって行っており、訪問希望のない家庭へも全戸訪問を実施しています。不在の家庭もあり、全数把握には至っていませんが、引き続き訪問を継続していきます。					
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	生後4か月未満の全乳児及び保護者に対して家庭訪問を実施。					
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない	A	事業の実施 により得られた成果	令和6年度 乳児家庭全戸訪問件数 1,047人 （新生児訪問件数1,018人　こんにちは赤ちゃん訪問件数29人）			
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）						
推進に関する課題	本事業については、すべての乳児がいる家庭に全戸訪問を実施（100%）しているが、対象児が入院中や里帰り中と不在の場合も多く、乳児と保護者の把握がすべてできない状況が課題である。					
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	母子手帳交付時に子育て包括支援センターで行う面談の際に、産後の訪問等についての案内を更に充実し、訪問に繋がるよう努める。また、4か月児健診までの期間で、ほぼ全数の把握はできているため、引き続き訪問と健診での支援を継続する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和6年度） A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	健康づくり課(こども家庭センター)		事業番号	6-(5)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	養育支援訪問事業及び要保護児童支援事業					
事業概要	養育支援訪問事業は、育児ストレスなどにより、子育てに不安や孤独感を抱える家庭や、養育に支援が必要な家庭を対象に、ホームヘルプ等による家事支援や見守り支援、助産師・保育士による育児支援を実施しています。 要保護児童支援事業は、様々な理由によって家庭での養育が困難となった児童や、子育てに悩む保護者を支援するために、要保護児童対策地域協議会を設置し、児童の適切な保護、保護者支援及び児童虐待の予防を目的に、必要な情報交換を行うとともに、支援等の内容に関する協議を行い、迅速な対応ができるようにするものです。					
市の現状	養育支援事業実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	養育支援訪問日数	6日	3日	19日	19日	81日
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(訪問日数)	20日	20日	20日	20日	20日
	確保の内容	20日	20日	20日	20日	20日
	実績(4月1日時点)	2日	41日	52日	44日	12日
確保の方策	養育支援訪問事業を行う際には、こども家庭センター(児童相談担当)や要保護児童対策地域協議会での検討に基づき、利用決定を行い、訪問先の家庭の理解を得て、養育支援訪問支援員(助産師・保育士・ホームヘルパー等)を派遣します。 地域で孤立していたり、子どもの養育に課題があったりする家庭の把握に努め、児童と保護者への支援の充実を図ります。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	子育て世代包括支援センターと毎月開催する連絡会議において、子どもの養育に支援を要する家庭を把握し、養育支援訪問事業の導入を検討。専門職の養育支援訪問事業支援員が家庭訪問し、育児方法を実践するなどして具体的に支援。育児相談を受けながら継続した支援や援助を行った。 また、支援状況を踏まえて児童相談対応を行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得られた成果	令和6年度 支援員 6人(保健師1人、助産師1人、保育士3人、ヘルパー1人) 養育支援利用者(保護者) 2人 養育支援利用日数 12日			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合の)						
推進に関する課題	養育支援員の確保、利用の促進、事業の積極的活用を図るためのアプローチ技術の向上					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	母子保健担当と連携し、子どもの養育に支援が必要な家庭の把握に努めるとともに、事業の積極的な活用を促す。また、養育支援訪問事業支援員の資質向上のため、市主催研修への参加依頼、県などが主催する研修情報の提供など、研修機会を設ける。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(6)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	地域子育て支援拠点事業					
事業概要	地域子育て支援拠点事業は、保育園や公共施設などの地域の身近な場所で、子育て中の家庭の交流・育児相談等を行う事業です。					
市の現状	地域子育て支援センターの利用実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	利用者数	387人/日	453人/日	384人/日	364人/日	326人/日
	施設数	9か所	9か所	9か所	9か所	9か所
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	370人/日	370人/日	370人/日	370人/日	370人/日
	確保の内容	9か所	9か所	9か所	9か所	9か所
	実績	8か所	8か所	8か所	8か所	8か所
確保の方策	保育所や児童館に併設する形で設置された子育て支援センターにおいて、様々な事業を行います。 子育て支援センターでは、併設する保育所や児童館などと連携しながら、子育てに関する専門性の高い職員が、各施設の特色のある事業を実施するほか、子育て相談等を行います。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	子育て支援センターにおいて、子育てに関する相談、指導、各種事業(パネルシアター・絵本の日、身体計測、誕生会、子育て講座等)。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得られた成果	公設公営子育て支援センター 2か所 公設民営子育て支援センター 2か所 民設民営子育て支援センター 4か所 利用者数 5,169人/月(前年度比195人/月増)			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	子育て支援センターにおいて、子育てに関する相談や事業を実施することで、保護者の育児に関する不安を軽減できたほか、子どもが事業に参加することで、情操の育成につながったと考えるため。					
推進に関する課題	子育て支援センターの計画的な整備					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	保護者のレスパイト(一時休息)などを目的とする一時保育については、一部の保育園で実施していますが、より安心して気軽に利用できるよう、普段から子どもを連れて遊びに来ている子育て支援センターでの一時預かり事業を実施します。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画　《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(7)-①
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	一時預かり事業					
事業概要	様々な理由で、家庭において保育を受けることができない乳幼児を対象に、幼稚園や保育所等において、一時的に預かる事業です。					
市の現状	一時預かり事業実績(幼稚園)					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	利用者数	—	—	—	88人/日	135人/日
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日
	確保の内容	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日
	実績	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日	400人/日
確保の方策	幼児教育・保育の無償化の対象施設として確認をした施設に対しては、幼稚園の在園児を対象として、教育時間の前後や、夏休み等の長期休業中に預かり保育を行います。 また、市では、幼稚園での預かり保育を推進するため、実施時間や利用者数等に応じて、市内の幼稚園に預かり保育事業補助金を交付します。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	幼稚園19施設を確認し、預かり保育を実施した。 また、市内幼稚園3園に預かり保育事業補助金を交付した。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得ら れた成果	利用施設数:19施設 延べ利用者数:25,370人 預かり保育事業補助金交付園 朝霞たちばな幼稚園、根岸幼稚園、朝霞花の木幼稚園			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)						
推進に関する課題	利用条件や利用方法などの周知					
令和7年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(7)-②
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	一時預かり事業					
事業概要	様々な理由で、家庭において保育を受けることができない乳幼児を対象に、幼稚園や保育所等において、一時的に預かる事業です。					
市の現状	一時預かり事業実績(保育所等)					
	利用者数(年間)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	量の見込み	47人/日	47人/日	47人/日	47人/日	47人/日
	確保の内容(目標)	67人/日	67人/日	67人/日	67人/日	67人/日
	確保の内容(実績)	67人/日	67人/日	67人/日	67人/日	67人/日
	保育所等	3,867人	5,868人	4,838人	5,106人	3,398人
	ファミリー・サポート・センター事業等	488人	544人	512人	598人	458人
事業の見込み、確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日
	確保の内容(目標)	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日
	確保の内容(実績)	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日
	保育所等	2,948人	2,531人	2,814人	2,982人	3,814人
	ファミリー・サポート・センター事業等	549人	677人	890人	1,076人	1,357人
	実績	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日	70人/日
確保の方策	保育所で行う預かり保育は、保護者の疾病、出産及び親族の介護・看護、その他育児疲れなどでリフレッシュしたいときなどに利用できる制度です。 ファミリー・サポート・センター事業等でも、サポート会員による預かり保育が可能です。 また、利用者が「施設等利用給付認定」を受けていて、保育の必要性が認められる方の場合、無償化の対象となる場合があります。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	公設園では、東朝霞保育園・さくら保育園・仲町保育園の3園で実施。 公設公営の2園では、低所得者(住民税非課税世帯)に対する保育料の軽減を実施。 昨年度の課題に取り組むことができ、非定型、緊急、リフレッシュのいずれのサービスについても必要な世帯の利用者数が増えた。(公設3園で855人の利用者増)					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	利用者数(公設分) 東朝霞保育園 令和6年度:849人 令和5年度:520人 令和4年度:412人 さくら保育園 令和6年度:1,406人 令和5年度:1,006人 令和4年度:514人 仲町保育園 令和6年度:1,554人 令和5年度:1,428人 令和4年度:1,885人 利用サービス内訳(公設分) 非定型保育サービス…利用者数 延べ1,982人(+527人) 緊急保育サービス……利用者数 延べ 680人(+249人) リフレッシュサービス…利用者数 延べ1,147人(+79人)			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	利用条件や利用方法などの周知					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(8)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	病児保育事業					
事業概要	児童が急な病気となり、保育所等が利用できず、また、保護者も就労などにより、保育ができない場合に、病院や保育所などに併設される専用の保育室で、看護師等が一時的に保育を行う事業です。					
市の現状	病児保育の実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	利用者数（年間）	—	—	—	133人	308人
	利用者数（月平均）	—	—	—	15人	26人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日
	確保の内容	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日
	実績	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日	5人/日
確保の方策	病児保育は、児童の病気の急変などを想定する必要があり、医師が常駐する医療機関に併設する「医療機関併設型」が望ましいと考えます。 現在実施している病児保育を継続しながら、市民のニーズの把握を行い、今後も病児保育を確保します。					
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	病気により集団保育が困難かつ保護者の勤務等の都合で家庭で保育を行うことが困難な、生後6か月から小学3年生の市内在住の乳児・幼児または児童に対して、一時的にその児童等の保育を行うことにより、保護者の子育てと就労の両立を支援した。					
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない	A	事業の実施 により得られた成果	病児保育室たまご（TMGあさか医療センターが運営主体） 新規登録者数 令和6年度：60人 令和5年度：94人 令和4年度：52人 利用者数 令和6年度：118人 令和5年度：117人 令和4年度：43人			
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）	市民を優先的に受け入れてもらうように協定を結んでいることから、急な病気により保育所等が利用できない児童に対して保育を提供できており、利用者数が令和5年度から大幅に増えるなど、病児保育のニーズに応えられていると考えられるため。					
推進に関する課題	利用条件や利用方法などの周知					
令和7年度以降の具体的 取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和6年度） A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート							
部名	こども・健康部	課名	健康づくり課(こども家庭センター)		事業番号	6-(9)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実						
事業名	ファミリー・サポート・センター事業						
事業概要	ファミリー・サポート・センター事業は、育児の援助をしたい方(提供会員)と、育児の援助をしてほしい方(依頼会員)が会員となり、地域の中で助け合いながら子育ての援助活動をする会員組織で相互の活動の連絡・調整を実施する事業です。						
市の現状	ファミリーサポートセンター事業(小学1～6年生)※令和2年度以降は小学生以外の乳幼児も含む						
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	会員数	依頼会員数	1,058人	1,152人	1,235人	1,335人	1,420人
		提供会員数	259人	266人	262人	258人	278人
	利用人数(年間)		691人	840人	1,082人	1,598人	1,644人
	利用人数(日平均)		2人	2人	3人	4人	5人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績						
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み		9人/日	9人/日	9人/日	9人/日	9人/日
	確保の内容		9人/日	9人/日	9人/日	9人/日	9人/日
	実績		8人/日	10人/日	10人/日	13人/日	13人/日
確保の方策	提供会員の拡大を進めながら、提供する子育ての援助活動の、さらなる質の向上を図るため、提供会員を対象とする研修の充実に努めます。						
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	入会説明会(41人参加):ファミリー・サポート・センターの概要 養成講習会(21人参加):サポート会員としての心構え、小児看護、安全・事故、心の発達、子どもの世話 ステップアップ講習会(16人参加):調理講習〔講師〕栄養士						
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施 により得られた成果	依頼会員数:1,648人(前年度比+35人) 提供会員数: 205人(前年度比+6人) 両方会員数: 80人(前年度比+7人) 事業の利用件数:5,038回 ※記載の数値には小学生以外の乳幼児も含みます。				
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)							
推進に関する課題	サポート会員の拡大						
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続						
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント					

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	健康づくり課（こども家庭センター）	事業番号	6-(10)	
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	妊婦健康診査					
事業概要	妊婦健康診査は、妊婦の健康の保持増進を図り、安全、安心な妊娠、出産に資するために適切な健診を行う事業です。					
市の現状	妊婦健康診査実績					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	対象者数	1,491人	1,427人	1,410人	1,322人	1,362人
	受診者数	1,410人	1,413人	1,381人	1,288人	1,333人
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み(受診者数)	1,216人	1,271人	1,166人	1,165人	1,400人
	確保の内容(受診者数)	1,216人	1,271人	1,166人	1,165人	1,400人
	実績	1,167人	1,241人	1,159人	1,140人	1,197人
確保の方策	母子健康手帳に添付された「妊婦健康診査受診票・助成券」により、妊婦健康診査の費用の一部(14 回分)に加え、令和5年度からは産婦健康診査1回分を助成し、妊産婦の健康管理の向上を進めています。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	妊婦一般健康診査 【補助金】委託医療機関以外の医療機関を受診している妊産婦に対し補助金を交付 1人あたり補助額: 上限107,190円					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得ら れた成果	令和6年度 活動指標: 妊婦一般健康診査公費負担回数 目標・計画 14回 実績15回 成 果: 妊婦一般健康診査受診者数 1,197人 妊婦一般健康診査受診率(1回目を評価) 目標・計画 97% 実績 98%			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)						
推進に関する課題	本事業は、妊婦健康診査に係る経済的負担の軽減を図れることから、母子の健康管理のためにも、効果的な活用が図られるよう、妊娠届出時等の周知を徹底する必要がある。					
令和7年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定してい るか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	健康づくり課（こども家庭センター）		事業番号	6-(11)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	利用者支援事業					
事業概要	子育て家庭や妊産婦が、教育・保育施設や地域子ども・子育て支援事業、保健・医療・福祉等の関係機関を円滑に利用できるように、身近な場所での相談や情報提供、助言等必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携・協働の体制づくり等を行う事業です。					
市の現状	子育て世代包括支援センターの設置・運営					
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	母子保健型(施設数)	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	基本型・特定型(施設数)	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込(施設数)	1か所	1か所	1か所	1か所	2か所
	確保の内容(施設数)	1か所	1か所	1か所	1か所	2か所
	実績	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
確保の方策	妊娠期から切れ目のない子育て支援の充実を目指し平成29(2017)年10月からは子育て世代包括支援センター(保健センター内)を設置・運営を開始しています。 令和5年4月からは、出産・子育て交付金、多子世帯応援給付金の支給を開始し、伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施を開始しました。すべての妊婦に対し、助産師や保健師が母子健康手帳を交付し、子育てのスタートをサポートします。妊娠・出産や子育ての悩み、疑問にお答えしたり、育児サービスの情報を提供、産後ケア事業等を行っています。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	妊娠届出時に保健師等による全妊婦への面接や妊婦健診の補助、産後ケア事業、新生児訪問指導、乳幼児健診などを実施し、妊娠期から子育て期にわたる一貫した切れ目のない子育て支援を実施しています。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施 により得られた成果	令和6年度実績 妊娠届出数 1,225人 うち妊婦との面談数 1,171人			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	妊娠届出の時期は、妊娠初期で体調がすぐれない妊婦も多いことや、子育て世代包括支援センターが1か所であるため、利便性の課題がある。					
令和7年度以降の具体的な 取り組み (どんなことを予定しているか)	北朝霞方面への設置について検討する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(12)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	実費徴収に係る補足給付を行う事業					
事業概要	食事の提供に要する費用(副食費分)について、未移行幼稚園に通う低所得世帯等を対象に費用の一部を補助する事業です。 (保護者の世帯所得の状況等を勘案し、助成を行います。)					
市の現状	実費徴収に係る補足給付を行う事業実績					
		令和元年度				
	実績	58人	※幼児教育・保育の無償化に伴い、令和元年10月開始			
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	240人	240人	240人	240人	240人
	確保の内容	240人	240人	240人	240人	240人
	実績	36人	33人	53人	127人	129人
確保の方策	保護者の世帯所得の状況等を勘案し、助成を行います。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	未移行幼稚園に通う児童の保護者に対し、本事業の案内を配付し、申請のあった対象者に昼食代のうち副食費(月額4,800円上限)の補助を行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	副食費に対し、費用の一部を補助することにより、経済的な支援ができた。 申請者数:129人			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	令和5年度から対象者に個別に案内を配付したことで、申請者数が増加しているため。					
推進に関する課題	保護者へ個別に案内を配付し、申請件数は増加傾向にあるが、引き続き、申請件数の増加に向けて周知を図る必要がある。					
令和7年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	更なる周知を図る。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

子ども・子育て支援事業計画 《支援事業》進捗管理シート						
部名	こども・健康部	課名	保育課		事業番号	6-(13)
基本方針	地域子ども・子育て支援事業の充実					
事業名	多様な事業者の参入促進・能力活用事業					
事業概要	地域の教育・保育需要に沿った教育・保育施設、地域子ども・子育て支援事業の量的拡大を進める上で、多様な事業者の新規参入を支援するほか、私立認定こども園における特別な支援が必要な子どもの受入体制を構築することで、良質かつ適切な教育・保育等の提供体制の確保を図る事業です。 認定こども園特別支援教育・保育経費は、健康面や発達面において特別な支援が必要な子どもを受入れる私立認定こども園の設置者に対して、職員の加配に必要な経費の一部を補助する事業です。					
市の現状	認定こども園において、特別な支援が必要な子どもの受入を行い、職員の加配に必要な経費の一部を補助しています。					
事業の見込み、 確保内容及び実績	量の見込み、確保内容及び実績					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	量の見込み	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月
	確保の内容	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月
	実績	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月	2人/月
確保の方策	平成31(2019)年4月に市内の保育所2園が認定こども園に移行し、認定こども園ができましたので、今後、認定こども園特別支援教育・保育経費事業の活用を図ります。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	特別な支援が必要な子どもの受入にあたり、職員の加配の費用の補助を行い、良質な保育体制の整備に努めた。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	特別な支援が必要な子どもの受入にあたり、職員の加配の費用の補助を行い、良質な保育体制の整備ができた。			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	特になし					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

朝霞市子ども・子育て支援事業計画 関連事業 進捗状況一覧
(次世代育成支援対策推進法の行動計画)

※R6 進捗状況（事業課の自己評価）の目安について

- A：着実に進捗している。予算執行状況が80%以上、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が80%以上であり、総合的に勘案して着実に進捗していると判断できる場合。
 B：ある程度進捗している。予算執行状況が60%～79%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が60%～79%であり、総合的に勘案してある程度進捗していると判断できる場合。
 C：進捗が順調でない。予算執行状況が40%～59%、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が40%～59%であり、総合的に勘案して進捗が順調でないとは判断できる場合。
 D：進捗していない。予算執行状況が39%以下、または活動指標・成果指標の目標・計画の実績が39%以下であり総合的に勘案して進捗していないと判断できる場合。

基本目標 1 すべての子どもがすくすく育つまち

基本方針 1-1 子どもの人権の尊重のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況					
				R2	R3	R4	R5	R6	
(1)子どもを虐待やいじめ等の 人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組	1	DV 相談事業	人権庶務課	A	A	A	A	A	
	2	要保護児童対策地域協議会等を活用した児童 相談事業	健康づくり課(こども 家庭センター)	A	A	A	A	A	
	3	児童虐待防止に関する意識の普及啓発	健康づくり課(こども 家庭センター)	A	A	A	A	A	
	4	里親制度の周知	健康づくり課(こども 家庭センター)	B	A	A	A	A	
	5	家庭児童相談事業	健康づくり課(こども 家庭センター)	A	A	A	A	A	
	6	子ども家庭総合支援拠点の整備	健康づくり課(こども 家庭センター)	A	A	A	A	A	
	7	養育支援訪問事業	健康づくり課(こども 家庭センター)	A	A	A	A	A	
	8	虐待防止に関する教育相談の実施	教育指導課	A	A	A	A	A	
(1)子どもを虐待やいじめ等の 人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり	9	民生委員・児童委員活動事業	福祉相談課	B	B	B	B	A	
	10	いじめ防止に対する取組	こども未来課 教育指導課	A	B	A B	A	A	
	11	施設における人権擁護等の体制整備	保育課	B	C	B	B	B	
(2)子どもの意見や視点の尊重	12	朝霞“未来・夢”子ども議会	市政情報課 教育指導課	D	A	A	A	A	
	13	「特別の教科 道徳」の推進	教育指導課	A	A	A	A	A	
	14	カウンセリングの実施	教育指導課	A	A	A	A	A	
(3)子どもの生きる力を育成する 学校教育環境の充実	15	中学校自由選択制度	教育管理課	A	A	A	A	A	
	16	朝霞第五中学校特認校制度	教育管理課	A	A	A	A	A	
	17	先進校・研究推進校への視察	教育指導課	B	A	A	A	A	
	18	あさか・スクールサポーターの活用	教育指導課	B	B	B	B	B	
	19	球技大会、陸上競技大会等の実施	教育指導課	B	C	B	B	B	
	20	学校総合体育大会、新人体育大会等の実施	教育指導課	B	B	B	B	B	
	21	朝霞市地域人材活用支援事業	教育指導課	A	A	B	B	B	
	22	学校保健委員会の実施・充実	教育指導課	A	A	A	A	A	
	23	朝霞市小学校低学年複数担任制事業	教育指導課	A	A	A	A	A	
	24	社会体験チャレンジ事業	教育指導課	D	D	A	A	A	
	25	保健体育科、家庭科、道徳等の授業で知識の 習得	教育指導課	B	B	B	B	B	

基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)障害のある子どもと保護者への支援	26	重度心身障害者福祉タクシー利用料等助成事業	障害福祉課	A	A	A	A	A
	27	紙おむつ給付事業	障害福祉課	A	A	A	A	A
	28	補装具の交付・修理	障害福祉課	A	A	A	A	A
	29	日常生活用具支給	障害福祉課	A	A	A	A	A
	30	生活サポート事業	障害福祉課	B	B	A	A	A
	31	障害者週間における啓発事業	障害福祉課	A	A	A	A	A
	32	障害児通所支援事業	障害福祉課	A	A	A	A	A
	33	身体障害者・知的障害者等に係る援護等	障害福祉課	A	A	A	A	A
	34	特別児童扶養手当の支給	障害福祉課	A	A	A	A	A
	35	重度心身障害者医療費の助成	障害福祉課	A	A	A	A	A
	36	障害児福祉手当	障害福祉課	A	A	A	A	A
	37	障害児放課後児童クラブ事業	保育課	C	C	A	—	—
	38	育成保育事業	保育課	B	A	A	A	A
	39	育み支援バーチャル支援センター事業 (発達障害児者支援体制)	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	40	朝霞市障害児就学支援委員会専門員による就学相談	教育指導課	A	A	A	A	A
	41	朝霞市はぐくみ補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A	D
(2)ひとり親家庭等の支援	42	ひとり親家庭への自立・生活支援事業	こども未来課	A	A	A	A	A
	43	児童扶養手当の支給	こども未来課	A	A	A	A	A
	44	ひとり親家庭等医療費の助成	こども未来課	A	A	A	A	A
	45	母子生活支援施設入所	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
(3)経済的困難を抱える家庭と保護者への支援	46	生活困窮者等学習支援事業	福祉相談課 こども未来課	A	A	A	A	A
	47	生活保護進学準備給付金の支給	生活援護課	A	A	A	A	A
	48	【No.42 再掲】 ひとり親家庭への自立・生活支援事業	こども未来課	A	A	A	A	A
	49	【No.43 再掲】 児童扶養手当の支給	こども未来課	A	A	A	A	A
	50	【No.44 再掲】 ひとり親家庭等医療費の助成	こども未来課	A	A	A	A	A
	51	【No.45 再掲】 母子生活支援施設入所	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	52	官民の賃貸住宅ストックの活用の推進	開発建築課	A	A	A	A	A
	53	小・中学校教育扶助事業	教育管理課	A	A	A	A	A
(4)外国につながるのある子どもと保護者への支援	54	外国人世帯の支援	各課	B	B	B	B	B
	55	多文化共生推進事業	地域づくり支援課	B	B	B	B	B
	56	日本語指導支援員の配置	教育指導課	B	B	A	A	A

基本方針1-3 地域の中の子どものために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり	57	児童館運営事業	こども未来課	B	A	A	A	A
	58	都市公園、児童遊園地の充実	みどり公園課	B	B	A	A	A
	59	冒険遊び場づくり事業(プレーパーク)	みどり公園課	B	A	A	A	A
	60	学校体育施設の開放	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A	A
	61	放課後子ども教室	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A	A
	62	図書館における子ども向け事業	図書館	B	B	A	A	A
(2)子ども同士の交流の機会の提供	63	【No.61 再掲】 放課後子ども教室	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A	A
	64	市民総合体育大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、ウォークラリー大会等の開催	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A	A

基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち

基本方針2-1 すべての子育て家庭のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)子育てを支える環境づくり ①情報提供の充実	65	【No.9 再掲】 民生委員・児童委員活動事業	福祉相談課	B	B	B	B	B
	66	子育て情報の提供	こども未来課	B	A	A	A	A
(1)子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援	67	難病患者見舞金 (小児慢性特定疾患患者を含む)	障害福祉課	A	A	A	A	A
	68	こども医療費の助成	こども未来課	A	A	A	A	A
	69	児童手当の支給	こども未来課	A	A	A	A	A
	70	小児救急医療における朝霞地区4市との共同事業	健康づくり課	A	A	A	A	A
	71	PTA連合会補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A	A
(2)家庭における子育て支援の充実	72	女性総合相談	人権庶務課	A	A	A	A	A
	73	内職相談事業	産業振興課	C	C	C	C	C
	74	あさか学習おとどけ講座	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A	A
	75	家庭教育学級の支援	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A	A
	76	家庭教育学級事業補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A	A
	77	家庭教育学級補助金	生涯学習・スポーツ課	A	A	A	A	A
	78	子育て(育児)講座	中央公民館	C	B	A	A	A
	79	ブックスタート事業	図書館	A	A	A	A	A

(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援	80	【No.6 再掲】 子ども家庭総合支援拠点の整備	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	81	子育て電話相談	保育課	A	B	B	B	B
	82	母子保健相談事業	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	83	栄養相談事業	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	84	妊婦健康診査	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	85	母子健康教育事業	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	86	乳幼児健康診査	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	87	歯科保健事業	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	88	各種予防接種の実施	健康づくり課	A	A	A	A	A
	89	母子健康手帳交付事業	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	90	未熟児養育医療費給付事業	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	91	妊娠期からの包括的な子育て支援	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A

基本方針2-2 地域における子育てのために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)子育てネットワークの充実	92	子育て支援センター事業	保育課	A	B	A	A	A
	93	保育園園庭開放・いっしょに遊ぼう保育園で	保育課	B	A	A	A	A
(2)子どもの健全育成の充実	94	青少年育成事業	こども未来課	A	A	A	A	A
	95	朝霞地区青少年健全育成地域の集いの開催	教育指導課	C	C	C	-	-
	96	朝霞市ふれあい推進事業	教育指導課	D	D	C	A	A
(3)世代を超えた子育て支援の推進	97	農業体験事業	産業振興課	D	D	B	A	A
	98	児童館における高齢者と児童の交流事業	長寿はつらつ課	D	B	A	A	B

基本方針2-3 子どもの安心・安全のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり	99	防犯灯設置工事費補助金の交付	危機管理室	B	B	B	B	B
	100	防犯灯維持管理費補助金の交付	危機管理室	B	B	A	B	B
	101	広報による防犯啓発活動	危機管理室	A	A	A	A	A
	102	朝霞防犯パトロール隊の認定	危機管理室	B	B	B	B	B
	103	防犯ブザーの貸与	教育総務課	A	A	A	A	A
	104	通学路の安全点検	教育管理課	A	A	A	A	A
	105	朝霞市生徒指導委員会の開催	教育指導課	A	A	A	A	A
	106	朝霞地区学校警察連絡協議会の開催	教育指導課	B	B	B	B	B
	107	通学路等での定期・臨時パトロールの実施	教育指導課	A	A	A	A	A
	108	非行防止教室の実施	教育指導課	A	A	A	A	A

(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり	109	道路区画線の工事	まちづくり推進課	A	A	A	A	A
	110	交通立看板、警戒標識等の設置	まちづくり推進課	A	A	A	A	A
	111	新入学児童への交通安全教育の実施	まちづくり推進課	D	A	A	A	A
	112	保育園児、幼稚園児に交通ルールの指導	まちづくり推進課	A	A	A	A	A
	113	交通安全運動チラシによる啓発活動	まちづくり推進課	B	A	A	A	A
	114	自転車運転免許制度の実施	教育指導課	B	A	A	A	A
(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり	115	すべての方が利用しやすい公共施設の整備	財産管理課	A	A	A	A	A
	116	都市計画道路整備事業	まちづくり推進課	A	A	A	A	A
	117	市道整備・道路管理の充実	道路整備課	A	A	A	B	A
	118	学校施設に対する教室等の空気検査	教育管理課	A	A	A	A	A

基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち

基本方針3-1 教育・保育の充実のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備	119	保育事業	保育課	A	A	A	A	A
	120	認可外保育施設等利用補助事業	保育課	A	A	A	A	A
	121	家庭保育室補助事業	保育課	A	A	A	A	A
(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ②幼稚園の利用促進	122	幼稚園事業	保育課	A	A	A	A	A
(2)放課後児童クラブの充実	123	放課後児童クラブ事業	保育課	A	A	B	B	C

基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実	124	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	125	ファミリー・サポート・センター事業	健康づくり課(こども家庭センター)	A	A	A	A	A
	126	延長保育事業(時間外保育事業)	保育課	A	A	A	A	A
	127	一時預かり事業	保育課	A	B	B	A	A
	128	休日保育事業	保育課	A	A	A	A	A
	129	病児保育事業	保育課	A	B	B	B	A

基本方針3-3 教育・保育の質を高めるために

施策の方向性	事業番号	事業名	担当課	進捗状況				
				R2	R3	R4	R5	R6
(1)教育・保育に携わる人材の確保・資質向上	130	保育士研修事業	保育課	B	C	A	A	A
	131	保育士等人材確保事業	保育課	B	C	A	A	A
	132	小学校と幼稚園・保育所の連携	教育指導課	B	A	A	A	A

朝霞市子ども・子育て支援事業計画

【関連事業】

進捗管理シート

(令和6年度事業)

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	1	部名	総務部		課名	人権庶務課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組					
事業名	DV相談事業					
事業概要	DV相談事業を年間を通して実施する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における 推進に関する課題に対 する対応はどうだった のか)	・DV相談の実施(火～日曜日 午前9時～午後5時) ※専門の相談員による相談は、火・水・金・土曜日 午前10時～午後4時 ・DV対策等関係機関ネットワーク会議及び支援調整会議の開催 ・配偶者暴力相談支援センター相談員及び女性総合相談員研修・交流会(1回)の実施 ・配偶者等暴力被害者緊急一時保護協定改定 ・その他、男女共同参画週間や女性に対する暴力をなくす運動期間等における啓発活動を実施するとともに、相談窓口の周知を行うなど、相談体制の充実を図った。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度)	A	事業の実 施により 得られた 成果	DV相談年間実施日数 307日 年間相談者数 348人			
自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗してい る C: 進捗が順調でない D: 進捗していない						
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)						
推進に関する課題	相談内容は複雑化、複合化し多岐にわたるため、引き続き、相談窓口の周知をするとともに、関係機関等との連携を図りながら、必要な情報の提供などを通じて、相談者が安全安心に相談できる相談体制を充実させていく。					
令和7年度以降の具体的 取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗してい る C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	2	部名	こども・健康部		課名	健康づくり課(こども家庭センター)
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組					
事業名	要保護児童対策地域協議会等を活用した児童相談事業					
事業概要	要保護児童の適切な保護、要支援児童若しくは特定妊婦への適切な支援を図るため、児童相談所をはじめとする関係機関で構成する「要保護児童対策地域協議会」のネットワークを活用。 関係機関で連携を図り、必要な支援につなげ、地域での見守りや緊急時の一時保護に対応するなど、児童相談を実施する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	日頃より、関係機関と児童虐待対応に関する協力関係を構築するとともに、市への通告を受けて調査や対応方針の検討を行うなど、児童虐待の早期発見・早期対応を行った。 職員の専門性向上のため、埼玉県が開催する児童虐待対応研修へ参加するとともに、他機関や民間団体主催の研修にも積極的に参加した。 また、要保護児童対策地域協議会においても研修を実施し、関係機関職員を含めた資質の向上に努めた。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度児童相談実績児童虐待相談351人、養護相談(その他)193人、言語発達障害等相談1人、発達障害相談2人、性格行動相談20人、不登校相談13人、育児・しつけ相談17人、その他相談248人 合計845人(福祉行政報告例第44表)			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	関係機関との連携強化。 職員の資質向上及び増員。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 関係機関と児童虐待に関する共通認識を持ち、連携して対応するために、個別支援会議を積極的に開催する。 関係機関が連携して対応することの重要性について、要保護児童対策地域協議会で研修を開催する。 職員に積極的な研修参加を促し、資質向上を図る。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	3	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課(こども家庭センター)
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)　子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	児童虐待防止に関する意識の普及啓発				
事業概要	児童虐待防止に関する広報啓発活動をすることで、児童虐待防止意識の高揚を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	広報あさか11月号に児童虐待防止推進月間に関する記事を掲載し、意識啓発に努めた。児童虐待防止推進月間では、市役所1階市民ホールに、児童虐待防止に関するパネルを設置したほか、SNSを活用した啓発も実施した。 また、市内小中学校、県立高等学校の全校生徒に啓発物を配布し、子ども自身から助けを求めることについて広報し、児童虐待の早期発見に努めた。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	小中学生・高校生向け啓発物配布準備(13, 308枚)※翌年度当初配布に変更 X、Facebook掲載 市民配信メール、学校配信メール活用 保育園だより、学校だより掲載 児童虐待早期発見のため、関係機関向けに児童虐待通告に関する通知発送などにより、児童虐待に関して啓発することができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	予防的視点をもった広報啓発活動。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	4	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課(こども家庭センター)
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	里親制度の周知				
事業概要	児童虐待など、様々な事情により自宅で暮らせない子どもを預かり、保護者等に代わって子どもを育てる里親を確保するために、制度の周知を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	毎年10月の里親月間にあわせて、市役所1階市民ホールに里親制度普及啓発のためのパネルを設置し、広報あさか10月号にも里親制度普及啓発に関する記事を掲載した。 埼玉県里親支援専門相談員連絡会の協力を得て、市役所1階市民ホールにて、里親制度PRのためのブースを設置し、来庁者に対して里親制度のPRを行った。 里親制度について、市ホームページに掲載し、普及啓発に努めた。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	X、Facebook掲載、里親制度PRパネル設置、広報あさかへの掲載などにより、里親制度を周知することができた。令和6年度新規登録者数3世帯。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	広報啓発活動継続による、里親制度のより一層の理解。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 埼玉県里親支援専門相談員連絡会と連携した里親制度の広報を継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	5	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課(こども家庭センター)
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)　子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	家庭児童相談事業				
事業概要	家庭における適切な児童の養育と、養育に関連して生じる様々な問題の解決を図るために「家庭児童相談室」を設置し、家庭における養育に関して相談を受け、専門的に助言・指導する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	相談者からの電話や来所相談への対応。 要保護児童対策地域協議会実務者会議、個別支援会議、病状調査などの参加。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度家庭児童相談実績 虐待相談15人、養護相談(養育環境)119人、発達の遅れ・障害3人、非行2人、性格行動306人、不登校23人、育児しつけ58人、その他173人、集団273人 合計972人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	保護者ばかりでなく、児童自身が気軽に相談できる相談窓口になるよう、広報啓発する。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	6	部名	こども・健康部		課名	健康づくり課(こども家庭センター)
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組					
事業名	子ども家庭総合支援拠点の整備					
事業概要	子どもとその家庭、妊産婦等を対象として、地域の実情の把握、相談対応、調査、継続的支援等を行う「子ども家庭総合支援拠点」を設置し、福祉、保健、医療、教育等の関係機関と連携した支援を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	子育て包括支援センターと毎月連絡会議を開催し、特定妊婦や0歳児の家庭などを中心に養育が気になる家庭の情報を共有。出産前からの切れ目の無い支援について話し合い、連携して養育の支援を行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度実績 連絡会議12回開催 ハイリスク妊婦256人、特定妊婦136人、0歳～4か月の子ども44人、4か月～1歳7か月の子ども345人 合計1,181人 (延べ人数)			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	職員の資質向上及び増員。 要保護児童対策地域協議会関係機関と連携した対応。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	連絡会議開催の継続。 要保護児童対策地域協議会関係機関と連携した対応。 リスクアセスメントシートを活用したリスク管理。 こども家庭センター開設に伴う、母子保健と児童福祉の一体的支援及び連携強化、合同ケース会議の開催。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	7	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課(こども家庭センター)
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)　子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	養育支援訪問事業				
事業概要	児童の養育が特に必要と判断した家庭に対して、助産師、保健師などがその居宅を訪問し、育児及び家事並びに養育に関する助言・指導等を行うことによって、支援対象家庭の養育が適切に行われるようにするもの。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	事業開始にあたり、支援対象家庭に関する支援計画を作成し、支援中には適宜要保護児童対策地域協議会実務者会議などで状況報告を行う。 こども未来課が主催する研修会への参加を促し、支援員の資質向上に努める。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度実績 2世帯に導入。訪問回数合計12回。 養育支援のため、助産師、保健師による訪問支援を行った。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	支援員の資質向上。 健康づくり課保健係との連携による支援対象家庭の把握。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	養育支援訪問事業から家事支援を分ける形で実施する、子育て世帯訪問支援事業の実施。				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	8	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)　子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ①児童虐待予防と防止の取組				
事業名	虐待防止に関する教育相談の実施				
事業概要	関連機関との連携を図り、虐待等の相談を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	校長の指導の下、生徒指導部・教育相談部が中心となり、担任、養護教諭、さわやか相談員(中学校)・サポート相談員(中学校)と協力し、児童生徒とのふれあいや個人面談、教育相談等の教育活動を通して早期発見・相談・支援にあたった。また、身体計測や健康観察などの機会を通して、虐待が疑われるようなケースがないか、注意深く観察した。 虐待が疑われる事案については、関係各課・関係機関に情報提供し、連携を図った。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	目標値等は特に定めていない。 日々の児童生徒とのふれあいを通して、虐待の早期発見に努め、教職員間の情報共有、関係各課・関係機関との連携を強化できている。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	教職員が虐待を早期発見するため、教育相談体制の充実を図る。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	9	部名	福祉部	課名	福祉相談課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1ー1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	民生委員・児童委員活動事業				
事業概要	地域を見守り、地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役として活動する民生委員・児童委員への支援を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	民生委員児童委員、市民児協及び地区民児協に対し、活動費及び運営費を補助することで、活動を促進し、地域社会の福祉増進を図った。毎月、地区定例会及び会長連絡会を開催し、事例研究や情報交換を行うとともに、全委員を対象とした合同研修会を開催するなど、活動の支援を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・活動指標:民生委員児童委員数 R6目標・計画 164人 R6実績 148人 ・成果指標:民生委員・児童委員活動日数(延べ日数) R6目標・計画 14,400日 R6実績 11,755日		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	民生委員児童委員の欠員解消には至っていないが、5名の退任に対して7名の委嘱により2名増員することができた。特に、主任児童委員については、令和6年7月1日の委嘱により定数を満たすとともに、学校との懇談会など関係機関との連携を図ることができたため。				
推進に関する課題	地域社会の福祉増進を図るため、民生委員児童委員の欠員補充に努める必要がある。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	公民館等でのパネル展開催や関係機関との連携、ラジオ放送を活用した活動の周知。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	10	部名	こども・健康部 学校教育部	課名	こども未来課 教育指導課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)　子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	いじめ防止に対する取組				
事業概要	いじめ防止及び解決を図るための基本事項を定め、いじめに対する必要な体制整備の検討を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	朝霞市いじめ不登校対策会議で把握している不登校児童生徒に関する情報を共有するとともに、必要に応じて教育指導課や小中学校と連携し対応を図った。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	子どもの不登校などの状況に応じて、関係機関と連携し、児童相談対応を行った。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	各学校との連携強化、支援の役割分担。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画:関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	10	部名	こども・健康部 学校教育部	課名	こども未来課 教育指導課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)　子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	いじめ防止に対する取組				
事業概要	全朝霞市規模の組織を基盤に、各学校現場で、きめ細やかな対応を図り、特に「未然防止」「早期発見」「起きてしまったときの『事案処理』」について、重点的に取り組む。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・毎月のいじめに関する調査及び報告の義務付け。 ・いじめに関する保護者アンケートの配布。 ・いじめ問題対策連絡協議会の開催。 ・いじめ問題専門委員会の開催。 ・朝霞市小・中学校生徒指導主任研修会の開催。 ・朝霞市小・中連携推進協議会の開催。 ・いじめ防止月間における各学校の重点的な取組。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	実施した事業を通して、学校と関係諸機関、庁内関係課との連携が強化され、関係全職員が組織的にいじめの防止、早期発見、早期対応にあたることができている。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	いじめ発生時の保護者対応をはじめとした具体的な事例研修、いじめ重大事態に関する法令等の確認等を行い、組織的にいじめの防止・発見・解決を図る。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	11	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)　子どもを虐待やいじめ等の人権侵害から守るための体制強化 ②子どもの人権尊重の仕組みづくり				
事業名	施設における人権擁護等の体制整備				
事業概要	保育所等における子どもの人権を守るため、苦情を受け付ける窓口の設置を義務とし、周知を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	朝霞市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例で保育所、認定こども園及び地域型保育事業者(小規模保育施設等)に対して、運営規定に虐待防止の措置について定めることや苦情を受け付けるための窓口の設置を義務づけている。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	全施設が苦情処理の仕組みを保護者に周知している。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	各施設において、苦情等の受付に係る体制等は整ってきており、保護者への周知等を図っている状況である。				
推進に関する課題	第三者による苦情体制を導入する施設の拡大。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続に加え、第三者による苦情体制の導入拡大に向けて、引き続き周知していく。				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	12	部名	市長公室 学校教育部	課名	市政情報課 教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの意見や視点の尊重				
事業名	朝霞“未来・夢”子ども議会				
事業概要	次代を担う子どもたちが、市議会の仕組みなどについて実体験を通して学ぶことにより、市政に対する理解と関心を深めるとともに、子どもたちからの提言や意見を市政の参考とするため、子ども議会を開催する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内の各小・中学校から、子ども議員を選出してもらう。選出された子ども議員は、市政に関する意見等を一般質問として発表し、それに対して市長又は教育長が答弁する。 開催にあたり、日程が学校や保育園等の行事と重ならないよう調整した。また、子ども議員の意見がより効果的に伝わるよう、質問の際にタブレット端末を使用し資料を投影できるようにした。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・令和6年度活動指標 子ども議会開催回数: 目標・計画1回、実績1回 ・令和6年度成果指標 一般質問数: 目標・計画26件、実績26件		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	令和7年度より子ども議会からこどもモニターアンケートへ移行した。 こどもモニターを増やしていくことが課題となっている。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	令和7年度より子ども議会からこどもモニターアンケートへ移行。 3回のアンケートを実施予定。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	12	部名	市長公室 学校教育部	課名	市政情報課 教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの意見や視点の尊重				
事業名	朝霞“未来・夢”子ども議会				
事業概要	次代を担う子どもたちが、市議会の仕組みなどについて実体験を通して学ぶことにより、市政に対する理解と関心を深めるとともに、子どもたちからの提言や意見を市政の参考とするため、子ども議会を開催する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内の各小・中学校から、子ども議員を選出してもらう。選出された子ども議員は、市政に関する意見等を一般質問として発表し、それに対して市長、教育長のいずれかが答弁する。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・令和6年度活動指標 子ども議会開催回数: 目標・計画1回、実績1回 ・令和6年度成果指標 一般質問数: 目標・計画26件、実績26件		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	子ども議会の開催時期は例年学校や保育園等でも行事が行われるため、関係機関と調整を図りながら開催するとともに、子ども議員の意見がより効果的に伝わるよう質問方法などを工夫する。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	令和6年度で事業廃止				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	13	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 子どもの意見や視点の尊重				
事業名	「特別の教科 道徳」の推進				
事業概要	「特別の教科 道徳」の教科化に伴い、年間指導計画に基づいて教科書を確実に活用して児童生徒の学びを深める。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・年間指導計画に沿って、教科書を確実に活用しながら道徳授業が実施されるよう指導計画の確認、評価方法の指導について、学校訪問や道徳推進教師・道徳主任研修会の開催等を通じて支援を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・目標値等は定めていない。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	・年間指導計画において、教科書を用いての明確な学びの位置づけと別葉の確実な作成・活用を行う。また、適切な評価についても、全教員が実施できるようにする。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・現行事業の継続 ・南部教育事務所管内道徳教育研究協議会の開催				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	14	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 子どもの意見や視点の尊重				
事業名	カウンセリングの実施				
事業概要	虐待、いじめ、不登校、悩みを抱える子ども等に対してカウンセリングを実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置した。 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、子ども相談室(教育相談員、専門家によるカウンセリング)、さわやか相談室(さわやか相談員、サポート相談員)等を活用し、児童生徒及び保護者等の相談に応じる体制を整えた。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・目標値等を定めていない。 ・児童生徒の抱える悩みや問題は年々複雑化、多様化しており、教師だけでは対応できない相談に対し、適切に耳を傾け、必要に応じて関係機関と連携を図ることで状況の改善につなげることができた。 ・専門的な知識や経験のある教育相談員等の活動が着実に進んでいる。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	・児童生徒の心のケアを行う専門的な研修を実施すること。 ・学校や関係各課・関係機関との適切な連携を図ること。 ・要望や業務量に対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの勤務日数が少ないこと。 ・教育相談に関する教職員自身のスキルアップを図ること。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	15	部名	学校教育部		課名	教育管理課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実					
事業名	中学校自由選択制度					
事業概要	通学区域の弾力的な運用を図ることにより、中学校を自由に選択できることで生徒一人ひとりに「生きる力」を育む教育環境の充実を図る。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・周知を図るために、パンフレットを配付(小学6年生) ・YouTubeによる制度説明会を開催し、保護者からの申込みについても紙または電子での受け付けとした。 ・定員を設けて申込みを受け付けし、定員を超えるときは、学校と協議のうえ抽選の有無について決定する。なお、抽選は公開抽選によるものとする。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	通学区域の弾力的な運用を図り、生徒一人ひとりに「生きる力」を育む教育環境の充実を図ることができた。			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	今後の生徒数を見込みつつ、また、各中学校の保有教室数を超過することがないように、適切な募集定員を決定する必要がある。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・小学校6年生にパンフレットを配付するとともに、学校メールの活用により、申込み漏れがないよう周知を図る ・電子による制度説明会及び申込受付を毎年実施する。 ・保有教室数と将来推計から、募集定員を慎重に決定する。 ・申込人数が定員を超過したときには、学校と協議のうえ抽選の有無について決定する。なお、抽選を実施する際にも協議のうえ、適切な人数を許可する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	16	部名	学校教育部	課名	教育管理課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	朝霞第五中学校特認校制度				
事業概要	・小規模校の活性化を図るため、市内すべての小学校から朝霞第五中学校へ通学できるよう特認校制度を設ける。 ・県費負担教職員に加え、教科支援員の活用により、教育の充実を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・周知を図るために、リーフレットを配付(小学6年生、中学校1・2年生) ・YouTubeによる制度説明会を開催する。 ・教科支援員との少人数指導(数学・英語)を全学年、全学級で実施。 ・ステップアップ教室の実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・リーフレットの配布及びYouTubeによる制度説明会を実施することで、周知を図ることができた。 ・個の能力に応じて、きめ細やかな指導を実施できた。 ・個の特性を生かした生徒指導を推進している。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	年度当初に限り、特認校制度として募集しているが、年度途中の希望や転入者への取り扱いについて、引き続き検討する必要がある。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・リーフレットの配布やYouTubeでの制度説明会など、周知の徹底を継続的に取り組む。 ・教職員の共通理解による生徒指導の充実を継続的に取り組む。 ・ステップアップ教室の開催や部活動の外部指導者による指導を継続して行う				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	17	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	先進校・研究推進校への視察				
事業概要	市内小・中学校を対象に研究開発学校を指定する。研究領域は、各教科等学校教育全般とする。委嘱期間は2年間とし、研究発表時に市内の小中学校教職員が参加し、研究成果を共有する。市内各小・中学校を対象に校内研修を助成する。教員経験年数の5年以上10年未満の教員を対象として指導力向上を目的に、教育奨励費を支給し主体的な研究を支援するとともに、全体研修を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	研究開発学校を指定したり、各学校の校内研修を助成したりすることで、研究を奨励し、本市教育の充実と発展を図った。 教育研究奨励費受給者に、一人当たり20千円、総額160千円の教育研究奨励費を支給し、1年の期間において、各自が設定したテーマに基づいて研修を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・各校における研修は活発に行われ、その成果は市内小中学で共有することができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	・教育奨励費受給者の対象者および推薦者の減少				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	18	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	あさか・スクールサポーターの活用				
事業概要	小学校3学年から6学年まで並びに中学校の通常学級における学級担任及び教科担任の補助として、児童生徒の学習指導の業務に従事し、学習内容の基礎基本の徹底を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・月曜日～金曜日の1日4時間、児童生徒の学習指導にあたる。 ・小学校10校に11名、中学校5校に6名、合計17名を配置した。(朝霞八小、朝霞一中に2名配置)				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	各学級に計画的に配置し、支援することで、一人一人の子どもの学力を保障することができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	4月に17名を配置したが、年度の途中で退職される職員がでた。				
推進に関する課題	・学校が活用したい教科と、サポーターの指導できる教科のバランスが必要となる。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	19	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	球技大会、陸上競技大会等の実施				
事業概要	体育授業の成果発表の場と学校間交流のため、市内の全小学校6年児童を参加対象とした陸上競技大会を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	球技大会は令和3年度以降の廃止決定。陸上競技大会は規模を縮小して午前中に実施。 種目は80m、100m、60mハードル、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げ、800m(女子)、1000m(男子)を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない 継続		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	運営の中心となる各小学校体育主任の入れ替えが多々あったものの、引継ぎが適切に行われ、円滑に実施できた。				
推進に関する課題	・ 天候不良の際の実施判断と予備日の設定。 ・ 各学校の学校行事との調整。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート						
事業番号	20	部名	学校教育部		課名	教育指導課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実					
事業名	学校総合体育大会、新人体育大会等の実施					
事業概要	・市内中学校部員が参加、運動部の朝霞地区予選は6月下旬と10月上旬に実施している。 ・競技によっては全国大会や関東大会に出場するなど、良い結果を多く残している。 ・ガイドラインを作成し、適切な活動時間や休養日の設定など、教師と生徒の負担を軽減し、効果的な部活動が実施されるよう指導している。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	通常通りの形態で実施された。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない 継続			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が継続している場合のみ記載)	中学校体育連盟と連携を図りながら、実施の可否について適切な判断をすることができた。					
推進に関する課題	・各学校で、生徒の健康面や教員の休養等について配慮し、部活動における練習日数や練習時間を設定すること。 ・部活動の地域移行を見据えた休日部活動の実施及び指導員の確保。					
令和7年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	21	部名	学校教育部		課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実					
事業名	朝霞市地域人材活用支援事業					
事業概要	理科支援員を配置し、小学校4学年から6学年までの理科の授業において、観察・実験の実施支援、準備・片付け、計画立案、教材開発、助言・提案等を行い、児童並びに教職員の実験技能の向上、基礎・基本的知識の徹底を図る。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・月曜日～金曜日の1日3時間程度、1校につき年間20回、児童並びに教員の支援、指導にあたる。 ・小学校10校に対して、6名を配置している。(おおむね担当校2校)					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	各支援員の高度な知識と経験により、児童、教職員ともに授業・学習内容が充実し、基礎基本の定着、実験時の安全が図れている。			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	雇用開始時期に1名不足しており、その後採用に時間がかかり、支援開始も遅れてしまったため。					
推進に関する課題	・学習内容を考慮して配置することが必要であり、活用が2学期に集中することによる各小学校間の調整。 ・総実験回数に対する活用回数の制限（年間20回）。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	22	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	学校保健委員会の実施・充実				
事業概要	・保護者や教職員（管理職・養護教諭等）、学校医・学校歯科医・学校薬剤師などがメンバーとなり、児童生徒の健康や体力に関する現状や課題について共通理解を図る。 ・課題を克服するための手立てや方策等について、話し合いをする。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・各学校、自校の児童生徒の健康体力に関する共通理解を図り、健康や体力の保持・増進のための具体的な方策について考える会議や講演会等を年1～3回実施。 ・朝霞市保健主事会、養護教諭研究協議会を通して、各校の内容を充実させる。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない 継続		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	新型コロナウイルス感染症の影響で児童生徒の体力低下が懸念される。運動の本質的な楽しさを味わわせる体育授業と家庭における基本的な生活習慣の確立を柱として、健康の保持増進と体力を維持し、向上させるため、自校の取組に生かすように、各校の学校保健委員会の実施回数や内容について情報交換をしていく必要がある。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	23	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-1 子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	朝霞市小学校低学年複数担任制事業				
事業概要	小学校1学年及び必要に応じて小学校2学年の通常学級において、児童の学校生活への支援、学習指導、生徒指導を実施するため、学級担任の補助に従事する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・小学校10校に27名を配置した。(朝霞第一小学校、朝霞第四小学校、朝霞第九小学校には2名、それ以外の学校には3名を配置) ・月曜日～金曜日の授業日に、1日4時間、児童の学習指導に当たった。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・活動指標 あさか・スクールサポーター、小学校低学年補助教員派遣人数 目標・計画 44名、実績 44名 (年間授業日 203日) ・成果指標 あさか・スクールサポーター、小学校低学年補助教員派遣日数 目標・計画 8,800日 ほぼ目標通りの実施となった。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	配置人数など、学校のニーズや状況に合わせて見直しを検討する。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	24	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－1　子どもの人権の尊重のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実				
事業名	社会体験チャレンジ事業				
事業概要	生徒の進路意識の高揚を図るため、社会体験チャレンジ事業（地域で3日間の職場体験活動）を行う。				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	市内中学1年生が3日間にわたり、各事業所で職業体験を行う。				
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・活動指標 担当者会議　目標・計画　1回、実績　1回 参加中学校数　目標・計画　5校、実績　5校 ・成果指標 参加人数　目標・計画　1,000人、実績1041人 協力事業所数　目標・計画　300社、実績　318社		
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）					
推進に関する課題	中学生職場体験活動における中学生の受け入れに協力していただける事業所を安定して確保することが難しい				
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 （令和6年度） A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	25	部名	学校教育部		課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－1 子どもの人権の尊重のために					
施策の方向性	施策の方向性(3)子どもの生きる力を育成する学校教育環境の充実					
事業名	保健体育科、家庭科、道徳等の授業で知識の習得					
事業概要	男女で協力して、家庭を築くこと、子どもを産み育てることの意義を理解するための教育を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・各学校の実態に応じ、年間指導計画に基づいて実施した。 ・各校の食育に活用できるように、リーフレット「あさかを食べる」を作成し、各校の食育の取組を紹介するとともに、バランスの良い食事についてのアドバイスや朝食の欠食率についてまとめ、家庭に周知している。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	・目標値等は定めていない。 ・継続			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	・リーフレット「あさかを食べる」の発刊が3月末となってしまったため。					
推進に関する課題	・児童生徒の発達段階に応じた指導の工夫が必要である。 ・リーフレット「あさかを食べる」を保護者へも周知を行えるようにする。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・体力向上に関して、各学校の体力向上の取組を、学期ごとにまとめ、学校間で情報を共有できるようにする。 ・「あさかを食べる」について、紙面での作成、配布は行わず、各校において作成したものを学校間で情報共有し、食育の取組を紹介することにする。保護者にも電子データの配布を行った。また、バランスの良い食事についてのアドバイスや朝食の欠食率についてまとめたデータを各学校に送付し、指導に活かせるようにしていく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	26	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	重度心身障害者福祉タクシー利用料等助成事業				
事業概要	重度の障害のある人・児童の生活圏の拡大と社会参加の促進を図るため、福祉タクシー券、バス・鉄道共通カード、自動車燃料費の中から選択制により利用料金を助成する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	身体障害者手帳1、2級、肢体不自由の下肢3級、療育手帳○A、A、B、精神障害者保健福祉手帳1、2級の手帳所持者に対して、福祉タクシー券、バス・鉄道共通カード、自動車燃料費の中から選択制により助成すること。福祉タクシー券については年間30枚の利用券を利用者からの請求に基づき交付すること。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	障害のある人の生活を支援するため、福祉タクシー利用券の交付などの交通費の助成等を行い、障害のある人の社会参加を推進することができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	27	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	紙おむつ給付事業				
事業概要	在宅の重度心身障害児（者）に紙おむつを給付することにより、経済的な援護、障害者の衛生維持及び介護者の日常の介護活動の援助を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	在宅の3歳以上64歳未満の重度心身障害者(身体障害者1、2級 知的障害者○A、A)で、おむつを必要とする方に、市が指定したおむつの組み合わせの中から利用者が選択したものを毎月自宅へ配送する。個別に訪問するため見守りも兼ねている。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	障害のある人の生活を支援するため、希望に応じた紙おむつを支給することにより、介護活動において経済的な負担を軽減することができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	物価高騰により紙おむつ支給に要する費用が値上がりしている。本事業は市単独事業であるため、引き続き財政的なコスト負担が課題である。				
令和7年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	28	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	補装具の交付・修理				
事業概要	身体障害者手帳の交付を受けている方に対し、日常生活の不自由さを補って、日常生活を容易にするために補装具の交付と修理を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	身体障害者(児)で、車いすや装具、補聴器等の補装具が必要な方に対して、交付及び修理の支給決定を行う。18歳未満の場合、原則医療機関の意見書をもとに支給の判断を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度の支給実績 交付97件(うち、18歳未満の交付件数は26件) 修理47件(うち、18歳未満の修理件数は11件)		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	29	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	日常生活用具支給				
事業概要	在宅重度心身障害者（児）の日常生活の便宜と社会適応性を図るための用具を給付する。				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	在宅重度心身障害者(児)に対してネブライザー(吸入器)や電気式たん吸引機等、日常生活支援用具が必要な方に対し、用具の給付を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度給付実績 給付件数:57件(うち18歳未満の給付件数:4件) ※ストマ、紙おむつを除く		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	基本的には現行事業の継続。 総合支援法に基づく補装具費給付事業と併せて、利用者負担額に関する負担上限額の所得区分上限を設定し、市町村民税所得割の最多納税者の納税額が46万円以上の場合は給付対象外とする。				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	30	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	生活サポート事業				
事業概要	障害のある人・児童やその家族の方々の地域での暮らしを支援するため、市に登録された民間団体が提供する外出、送迎などサービスに要する費用を補助し、福祉の向上及び介護者の負担軽減を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	各種障害者手帳所持者等に対して、申請に応じて、生活サポート事業利用者票を交付し、登録団体におけるサービス利用の際の自己負担額の一部を補助する。18歳未満の方については、所得に応じた自己負担の軽減を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	登録団体において、迅速・柔軟なサービスを提供し、障害者及びその家族の地域生活を支援し、障害者の福祉の向上することができた、また、自己負担額の一部を補助することにより、利用者の負担軽減を図ることができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	31	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	障害者週間における啓発事業				
事業概要	障害者週間は、障害のある方の福祉について国民の関心と理解を深めるとともに、障害のある方が社会、経済、文化そのほかあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるために国によって定められたもので、障害者週間（12/3～12/9）に市内において啓発事業を実施することにより、障害のある人への理解を促進します。その一環として、市内公共施設において、障害のある人が作成した作品や市内障害福祉施設の活動内容等を展示する。				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	・障害者週間(12/3～12/9)に、朝霞市立図書館本館にて、市内の障害福祉施設の日頃の活動の様子や作品、障害福祉に係る啓発資料を展示。				
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	前年は産業文化センターでパネル展を実施したが、令和6年度は朝霞市立図書館本館で行ったことで、広範囲の地域で展示を見ていただくことができたことにより、障害者への理解促進に成果があったと思われる。		
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）					
推進に関する課題	まだ未開催の地域でのパネル展示を検討していきたい。				
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和6年度） A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	32	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	障害児通所支援事業				
事業概要	未就学の集団療育及び個別療育を行う必要があると認められる児童が通所し、日常生活における基本動作の指導、集団生活への適応のための訓練などを行う児童発達支援や、小学校1年生から高校3年生までの障害のある児童に対し、放課後や学校の休日において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供し、障害のある児童の自立を促進し、放課後等の居場所づくりを行う放課後等デイサービスを提供する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	通所に関する相談を受けること。 通所に必要な受給者証を発行すること。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度利用者実人数 1167人(児童発達支援 430人、放課後等デイサービス 548人、保育所等訪問支援 188人、居宅訪問型児童発達支援 1人)		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	33	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	身体障害者・知的障害者等に係る援護等				
事業概要	ケースワーカーにより、身体障害者手帳・療育手帳に関する相談・援護を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・身体障害者手帳や療育手帳の取得等についての相談を受け、聞き取りを行うこと。 ・身体障害者手帳所持者に交付される補装具の給付に係る県の判定への同行をすること。 ・療育手帳取得に際し、県の判定への同行をすること。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	障害者手帳の取得等が必要な方に対し、制度に関する説明を丁寧に行い、適切な判断をした上で相談や援護を行っている。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	障害者手帳を取得することに対して、抵抗のある方がいるため、取得を検討している方や周りの方の障害者に対する理解を深める必要がある。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	障害者手帳の取得に対する偏見をなくし、障害者手帳が必要な方が積極的に取得できるように、引き続き周知するように努める。				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	34	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	特別児童扶養手当の支給				
事業概要	精神または身体に一定の障害がある　20　歳未満の子どもを育てている方のうち、主として生計を維持する方への経済的支援を図るため、手当を支給する。 ※国の事業（受付窓口は市町村）				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	身体等に一定の障害のある20歳未満の子どもに障害の程度に応じて、令和6年度は月額55,350円(1級)または月額36,860円(2級)を支給する。				
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	手当を適切に支給することにより、障害のある子どもを育てている保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 ※国の事業のため、市の歳出は無し。 ※特別児童扶養手当に係る事務費委託金の歳入あり(R6年度決算額569,212円)。		
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 （令和6年度） A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	35	部名	福祉部	課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	重度心身障害者医療費の助成				
事業概要	重度心身障害者やその家庭に対して、経済的負担を軽減し、福祉の増進を図るため、医療費の一部を助成する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	<対象者> 1. 身体障害者手帳1～3級 2. 療育手帳④、A、B 3. 精神障害者手帳1級 4. 次の①、②のいずれの場合にも該当する方 ①次のa～cのいずれかに該当する手帳等の交付を65歳未満で受けている場合で、後期高齢者医療保険制度の障害認定を受けた場合 a) 身体障害者手帳4級のうち、音声機能又は言語障害、下肢機能障害(一部) b) 精神障害者保健福祉手帳2級 c) 障害基礎年金1・2級の証書 ※平成31年1月1日以降に受給資格が発生した方(以下、「新規資格取得者」)は、10月1日から翌年9月30日までの受給資格について、本人の所得(未成年者についても同様)による審査を毎年実施する。それより前に受給資格が発生した方については、経過措置として、所得の多寡に関わらず令和4年9月30日まで受給資格を継続する。令和4年10月1日以降については、全資格取得者に本人の所得による審査を実施する。 <助成内容> 保険診療に係る自己負担額。住民税非課税世帯の対象者については、入院時食事療養標準負担額を平成28年4月診療分から助成。 令和4年10月診療分から、現物給付による窓口払い不要の対象地域を埼玉県内の医療機関に拡大。あわせて、現物給付の対象に入院を追加(上限金額の設定あり。)。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	障害を持った子どもの医療費を助成することにより、障害を持った子どものいる家庭の経済的負担の軽減につながった。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	36	部名	福祉部		課名	障害福祉課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援					
事業名	障害児福祉手当					
事業概要	身体又は精神（知的）の重度の障害により、日常生活において常時の介護を必要とする状態にある20 歳未満の方に対し負担の軽減を図るため、手当を支給する。 ※国の事業（認定、支払い等の処理は市区町村）					
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	20歳未満で、身体等に著しく重度の障害があるため、常時特別な介護を必要とする方に令和6年度は月額15,690円を支給する。					
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	手当を適切に支給することにより、障害のある方の経済的負担の軽減を図ることができた。 対象者数:74人、支給額:10,443,970円。 ※特別障害者手当等給付費国庫負担金の歳入あり(R6年度決算額27,096,832円)。			
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）						
推進に関する課題	特になし					
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業の継続					
子ども・子育て会議進捗状況 確認欄 （令和6年度） A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	38	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	育成保育事業				
事業概要	育成事業を通じて、保育園等で障害のある子どもの保育を行う。 育成保育とは、心身に障害等がある子どもに対して、保育士を加配することで統合保育(集団保育)を実施するもの。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	心身の障害にかかわらず、こどもたちが保育園において、ともに育ちあうなかで、安全で健やかな生活ができる統合保育を実施した。 また、上半期と下半期に一度ずつ、希望のあった保育園への巡回相談を行い、障害のある子どもの対応などの相談に対応した。 利用者数の増加に対しては、受入れに向けて施設と調整を行うとともに、受入れ施設に対して、「障害児保育対策事業」として補助金を交付し、施設が受け入れしやすくなるよう支援を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	< 育成保育 > 児童数　　　19人 受入施設数　10施設(公設保育園のみ) < 育成保育を除いた加配 > 児童数　　　145人 受入施設数　41施設(居宅訪問型1事業含む) ※令和7年3月時点の加配児童状況		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	利用者数の増加。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	巡回相談を中心にこれまでの取り組みを継続する。				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画:関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	39	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課　（こども家庭センター）
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	育み支援バーチャル支援センター事業（発達障害児者支援体制）				
事業概要	発達に関して気がかりがある児の療育支援のため、専門スタッフ（小児科医、心理相談員等）と地域スタッフにより、巡回相談や来所型での専門相談、親子グループ等での指導や助言を行う。				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	・市内の保育園、幼稚園、小中学校への巡回相談による助言・指導の実施。 ・年12回の医師による相談、年約30回の心理相談員により相談・検査、運動発達面を促す親子グループを11回／年、2つの親子グループを各24回／年実施するほか、市民向け研修会や支援体制整備会議を開催。				
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	巡回相談回数: 目標16回　令和6年度実績: 11回 巡回相談件数: 目標80件　令和6年度実績: 84件		
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）					
推進に関する課題	より継続的で一体的な途切れのない事業としていくために、今後も関係機関と連携を強化し、子どもが属する機関が変わる際にも支援が継続されるようなシステム形成を関係機関と検討・協議する必要がある。 また、専門家の助言等を保育者や教員の日常の関わりにより活かしていただくために、関係機関とは、巡回相談の目的の共有をより徹底していく必要がある。				
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 （令和6年度） A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	40	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	朝霞市障害児就学支援委員会専門員による就学相談				
事業概要	障害のある幼児、児童及び生徒に関し、適正な就学支援を行うための相談会の実施を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・就学相談のためのオリエンテーションを実施した。 ・就学相談を年間に7回実施して、障害のある幼児、児童及び生徒に関して適正な就学ができるように支援を行った。 ・就学相談で保護者等から相談のあった内容について、朝霞市就学支援委員会条例に基づく就学支援委員会で子供の実態や保護者の意向等を踏まえ丁寧に審議し、本人や保護者と合意形成を図りながら就学や教育形態の変更につなげた。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	事業内容を適正に行うことができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	就学相談を希望する保護者の増加。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・子供の実態を適切に把握しながら、本人及び保護者との合意形成を丁寧に図りつつ、就学相談を実施していく。 ・就学相談や就学支援委員会の開始時間を前年度より早める等、日程や時間等の見直しを行い、時間を確保していく。 ・就学相談に関連して、子ども相談室でも発達に関する相談を実施する。その際、必要に応じて社会福祉施設や就学前教育機関と情報を共有し、就学相談の円滑な進行につなげていく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	41	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1)障害のある子どもと保護者への支援				
事業名	朝霞市はぐくみ補助金				
事業概要	「朝霞市内の小中学校の心や身体に障がいのある児童生徒の福祉を図り支援する」ことを目的として設立された市内小・中学校の保護者団体「朝霞市はぐくみ」に補助金を交付し、その活動を支援する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	令和6年度に市内15校に特別支援学級が設置されたことにより、「朝霞市はぐくみ」の活動が終了したことに伴い、未執行である。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	D	事業の実施により得られた成果	なし。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	令和6年度をもって、「朝霞市はぐくみ」の活動が終了したことにより事業が終了したため。				
推進に関する課題					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	「朝霞市はぐくみ補助金」制度を令和7年4月1日をもって廃止				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	42	部名	こども・健康部		課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－2 特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援					
事業名	ひとり親家庭への自立・生活支援事業					
事業概要	母子家庭及び父子家庭の親に、自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金、受験料及び模試費用給付金等を支給する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・自立支援教育訓練給付金を支給する。 指定講座受講修了の際、講座受講のために支払った入学料及び受講料の60％相当額（雇用保険法による一般教育訓練給付金を受給している方は、60％相当額からその支給額を差し引いた額を支給（上限200, 000円、下限12, 000円）。 ・高等職業訓練促進給付金を支給する。 指定された資格の養成機関修業中に高等職業訓練促進費（市・県民税課税世帯100, 000円、非課税世帯70, 500円）、修了時に修了支援給付金（市・県民税課税世帯50, 000円、非課税世帯25, 000円）を支給。 ・受験料及び模試費用給付金を支給する。 中学3年生1人につき模試費用（上限6,000円）、高校3年生に1人につき模試費用（上限8,000円）、受験料（上限53,000円）を支給。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度)	自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	【令和6年度活動指標】 自立支援教育訓練給付金申請者数 目標 2人 実績 1人 高等職業訓練促進給付金等申請者数 目標 7人 実績 8人 受験料及び模試費用給付金申請者数 目標 13人 実績 6人 【令和6年度成果指標】 自立支援教育訓練給付金申請者のうち、給付金を受給した者 目標 2人 実績 1人 高等職業訓練促進給付金等申請者のうち、支給決定した者 目標 7人 実績 8人 受験料及び模試費用給付金申請者のうち、支給決定した者 目標 13人 実績 6人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価 が変わった又はA以外の 評価が連続している場合 のみ記載)						
推進に関する課題	就職や転職を考えている方や就職に有利な資格を取得したうえで安定して雇用をしたいという方が潜在的にいることが想定されることが、またひとり親家庭の子の進学に対して支援を強化する観点から、引き続き、制度案内や周知を積極的に行っていく。また、ひとり親家庭への支援の強化を踏まえ、関係機関との連携により、生活の安定と自立支援を促進していく必要がある。					
令和7年度以降の具体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない			コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート						
事業番号	43	部名	こども・健康部		課名	こども未来課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援					
事業名	児童扶養手当の支給					
事業概要	ひとり親家庭等に、所得に応じて児童扶養手当を支給する。 【手当月額】 全部支給　45,500円 一部支給　45,490円～10,740円					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	ひとり親家庭等に、所得に応じて児童扶養手当を支給した。 また、母子・父子自立支援員を配置し、児童扶養手当の申請時や離婚前などに相談できる体制を整えた。 【手当月額】 全部支給　45,500円 一部支給　45,490円～10,740円 【支給月】 5月、7月、9月、11月、1月、3月					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	【令和6年度活動指標】 児童扶養手当支給額　249,176千円 【令和6年度成果指標】 支給予定日に遅滞なく児童扶養手当が支給されている割合　100%			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	引き続き、ハローワークや県、関係団体と連携を図りながら、母子・父子自立支援員の相談や自立支援プログラムの策定等も充実させつつ、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、就職や転職等の支援を行う。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	44	部名	こども・健康部		課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援					
事業名	ひとり親家庭等医療費の助成					
事業概要	ひとり親家庭等に対して医療費の一部を助成する。 小学校に入学を予定している子どもを持つひとり親家庭の父、母に入学準備に必要な経費の一部を支給する。 ひとり親家庭環境において、学習が進んでいない中学生・高校生を対象に家庭訪問の実施や居場所づくり及び中途退学防止のため、学習教室を開催する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・ひとり親家庭の父母及び18歳以上到達後の最初の3月31日までの児童(一定の障害がある場合は20歳未満)、療育者に対して医療費の一部を助成した(所得要件あり)。 ・小学校入学を予定している対象のひとり親家庭に対し、8,000円を支給した。 ・ひとり親家庭の環境において、学習が進んでいない中学生・高校生を対象に本人及び保護者に対して家庭訪問の実施や居場所づくり、高等学校等への進学及び中途退学防止のため、学習支援教室を開催した。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	【令和6年度活動指標】 ひとり親家庭等医療費支給額 43,270千円 ひとり親家庭児童就学支度金支給額 112千円 【令和6年度成果指標】 支給日にひとり親家庭等医療費が遅滞なく支給されている割合 100% 支給対象者に就学支度金が遅滞なく支給されている割合 100%			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	ひとり親世帯で学習支援教室があるのを知らない世帯もいることが考えられることから、引き続き制度案内や周知を行っていく。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	45	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課（こども家庭センター）
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ひとり親家庭等の支援				
事業名	母子生活支援施設入所				
事業概要	母子の保護及び自立の促進のための生活指導を行う。 保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦に対し、助産施設への入所支援を行う。				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	経済的理由により、入院助産を受けることができない妊婦の支援にあたった。 入所を必要とする世帯を把握するために、関係機関向けに助産制度活用に関する通知を発送した。				
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	安全に子どもを出産するために、助産施設への入所支援を行った。（令和6年度3件） 母子生活支援施設への入所実績なし。		
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）					
推進に関する課題	入所を必要とする世帯の把握。 関係機関と連携した対応。				
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業を継続。 入所を必要とする世帯を把握するために、引き続き関係機関向けに助産制度活用に関する通知を発送するなど、制度の周知に取り組む。				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 （令和6年度） A：着実に進捗している B：ある程度進捗している C：進捗が順調でない D：進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画：関連事業》　進捗管理シート						
事業番号	46	部名	福祉部 こども・健康部		課名	福祉相談課 こども未来課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(3)経済的困難を抱える家庭と保護者への支援					
事業名	生活困窮者等学習支援事業					
事業概要	生活困窮世帯やひとり親家庭の学習が進んでいない中学生や高校生を対象に、学習支援教室を開催し、学習支援や居場所づくりを行うとともに、状況に応じて、家庭訪問を実施する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	公民館を会場に週1回の学習教室を開催。また、家庭訪問での学習や進学への支援、生活習慣を身に費えるための相談等も行った。 多くの方に本事業について、校長会や生活保護担当職員などの関係機関へ事業説明を行ったほか、就学援助の決定通知や児童扶養手当の申請書類の送付時に案内チラシを同封するなどの周知に努めた。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・活動指標: 学習教室の申込人数 R6目標・計画　34人　R6実績　27人 ・成果指標: 参加した中学3年生の進学率 R6目標・計画　100%　R6実績　100%			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	学習教室の会場が朝霞駅方面のみとなっていることや、開催日数（現在週1回）について、今後検討していく必要がある。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	引き続き、学習教室を実施し、該当する中学生、高校生が学習に取り組んだり、居場所として教室に通えるよう、委託事業者とも情報共有や連携を密に行っていく。また、関係部署にも、教室の趣旨等を周知し、必要な方の利用につなげていく。					
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	47	部名	福祉部	課名	生活援護課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(3)経済的困難を抱える家庭と保護者への支援				
事業名	生活保護進学準備給付金の支給				
事業概要	生活保護世帯に属する子どもが大学等に進学した場合、新生活を始める支援をすることを目的に、給付金を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	生活保護世帯に属する子どもが大学等に進学した場合、進学のために転居する際は30万円、転居せず現在の居住地から通学する場合は10万円を支給する。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	生活保護世帯の子どもの大学等への進学を支援することができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	大学等への進学を希望する世帯が適切に給付を受けられることができるように、毎月発行する保護だよりに制度内容を掲載し、対象世帯の訪問時に声掛けをするなどし、周知を行う。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画　《次世代育成支援行動計画:関連事業》　進捗管理シート					
事業番号	52	部名	都市建設部	課名	開発建築課
基本目標	基本目標1　すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1－2　特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(3)経済的困難を抱える家庭と保護者への支援				
事業名	官民の賃貸住宅ストックの活用の推進				
事業概要	住宅に困窮している低所得層の市民に対し低廉な家賃で住宅を供給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	コンフォール東朝霞団地、UR浜崎団地、UR膝折団地から計50戸を市営住宅としてUR都市機構から借上げ、住宅に困窮する低所得の市民に住宅を供給し、その運営管理(家賃算定・徴収、退去の手続き等)を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	市営住宅50戸の運営管理　100%		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	コンフォール東朝霞の借上げ期間が令和6年4月で満了し、庁内検討委員会の決定に基づき、コンフォール東朝霞に入居中の住戸は契約更新を行い、空き住戸のUR膝折団地・UR浜崎団地へ順次借替えを進めている。今後も引き続き、借替えを進めながら、計3団地にて市営住宅50戸の管理・運営を行う必要がある。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	借替えを進めているUR膝折団地・UR浜崎団地を含めた3団地における現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況　確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	53	部名	学校教育部	課名	教育管理課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(3)経済的困難を抱える家庭と保護者への支援				
事業名	小・中学校教育扶助事業				
事業概要	学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童または生徒の保護者に対し、就学に必要な費用を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	就学援助制度に認定となった保護者に対し、以下の費目について援助費を支給する。 ○医療費 ○新入学児童生徒学用品費 ○学用品・通学用品費 ○学校給食費 ○修学旅行費 ○校外活動費 ○交通費 ○体育実技用具費(柔道着) ○林間学校費 ○オンライン学習通信費等				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	経済的に就学困難と認定される、特別支援学級へ通学する、または火災等により被災した児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な費用の一部を援助したことにより、円滑に義務教育が受けられている。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	支援が必要な世帯からの申請漏れがないよう、引き続き制度周知を図る必要がある。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・認定処理を適切に実施する。 ・各援助費目について、遅滞なく支給する。 ・支援を必要とする児童、生徒の家庭へ援助を行うため、制度周知を図る。 ・電子による申請の受付け及び毎年度の継続審査を引き続き実施する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	54	部名	各部		課名	各課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－2 特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(4)外国につながるのある子どもと保護者への支援					
事業名	外国人世帯の支援					
事業概要	外国人に配慮した子育て支援の情報提供や利用支援を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・市ホームページ内に子育て情報をまとめたサブサイト「あさか子育て応援サイト」を設け、その情報は希望言語を選択することで、表示が変換される設定になっている。 ・窓口で外国人が来庁された際、外国語で応対できる職員を派遣することや外国語翻訳機(ポCKETーク)等を活用し、育児や生活全般の相談に随時対応等、意思の疎通に努めている。 ・外国語版の母子手帳の紹介や予防接種予診票の案内をしている。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	全庁的に取り組むべき内容であるため、一概に評価することは難しいが、市職員は可能な限り外国語を使用する市民等の対応に努めている。			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	窓口等での対応や子育て事業などにおいて、取り組む必要があるため。					
推進に関する課題	学校生活や保育所等において、外国人の方が生活するうえで必要とするコミュニティやサービスの対応など、日本では通念上理解されている事柄も違った文化や価値観において、相互理解が必要なため、事例の把握や対応方法などの情報収集が必要である。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	引き続き、外国語を使用する市民等の対応について、全庁的に取り組んでいきたい。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	55	部名	市民環境部	課名	地域づくり支援課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1ー2 特別な配慮が必要な子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(4) 外国につながる子どもと保護者への支援				
事業名	多文化共生推進事業				
事業概要	多言語で情報を発信する。 多文化推進サポーターを募集・活用する。 外国人市民の意見を聞き、国際化推進事業庁内連絡会議で共有する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・多文化共生に関する情報発信(広報、HP等での周知・啓発:8回) ・多文化推進サポーター事業の実施(翻訳:6人、文化交流:3人) ・国際化推進事業庁内連絡会議開催				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	多文化共生事業の実施回数(目標:60回、実績:85回) 多文化共生に関する情報発信(目標:12回、実績:8回) 多文化推進サポーター活動延べ人数(目標:34人、実績:9人)		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	前年度に続き、広報あさか及び市HPで多文化共生に関する情報発信を行った。 多文化推進サポーター実働回数については、小中学校で提供された外国料理と文化の紹介記事の作成を依頼し、実施した。 目標値を達成することができなかったためB評価とした。				
推進に関する課題	外国籍市民は増加することが見込まれており、地域で孤立したり、生活習慣などの相互理解不足からトラブルに発展することがないよう、お互いの文化を理解し、情報発信等を通じ多文化共生意識の醸成を図る必要がある。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	56	部名	学校教育部		課名	教育指導課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－2 特別な配慮が必要な子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(4)外国につながるのある子どもと保護者への支援					
事業名	日本語指導支援員の配置					
事業概要	日本語の指導を必要とする帰国・外国籍児童生徒が在籍する朝霞市立小学校及び中学校に、日本語運用能力の向上と学校生活の安定化を図るため、日本語指導支援員の配置を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・児童生徒の日本語指導、基礎的な生活習慣の指導及び学習指導等の通訳を行う。 ・児童生徒が在籍する学級担任教諭及び児童等の保護者に対する助言及び援助を行う。 ・小学校合計34名の児童に対し、5名の日本語指導支援員を配置し指導を行った。 ・1日2時間を上限とし、654回分(予算枠700回)の支援を行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	近年、日本語指導が必要な児童生徒が増加しており、令和6年度は5名の支援員を配置し(令和5年度は5名)、効果的な指導を行うことができた。			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	・児童生徒の使用言語に対応できる支援員の確保。 ・学校生活における基本的な日本語の指導ができる支援員の確保。 ・外国籍児童生徒の増加のための予算の確保。(国内政策や国際情勢等を把握しながら、必要に応じて年度途中で補正)					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・会計年度任用職員としての採用を検討。 ・県費負担日本語指導加配教員の配置(朝霞市内で4名)があるため、支援内容に関して調整する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	57	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1ー3 地域の中の子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもの健全な成長を支える居場所づくり				
事業名	児童館運営事業				
事業概要	児童の健全な成長を目指し、子どもたちが安全にかつ快適に遊び、活動できるよう、子どもたちの安心・安全な居場所として児童館ガイドラインに沿った管理・運営を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	幼児事業、児童対象事業、中高生対象事業、保護者対象事業、館外事業、季節事業を開催した。指定管理者と協力して、子どもたちが安全かつ快適に遊び、活動できるよう努めたこともあり、多くの来館者数が訪れた。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	利用者数 きたはら児童館 37,185人 はまさき児童館 29,354人 みぞぬま児童館 54,929人 ねぎしだい児童館 29,930人 ひざおり児童館 35,144人 ほんちょう児童館 59,098人 計245,640人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	指定管理者と協力し、利用者のニーズの把握に努め、それを踏まえた魅力ある児童館事業の実施や設備の充実を図る。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	今後においても、指定管理者と連携して子どもたちが安全かつ快適に遊び、活動できるよう、また、子どもたちの安心・安全な居場所として様々な児童館事業を実施する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	58	部名	都市建設部	課名	みどり公園課
基本方針	基本方針1－3 地域の中の子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもの健全な成長を支える居場所づくり				
事業名	都市公園、児童遊園地の充実				
事業概要	幼児や小学校低学年の遊び場として、整備の充実を図る。 公園不足地区の解消及び既存公園の質的向上を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	子どもたちが安心安全に遊べるよう、都市公園長寿命化計画に基づき既設公園の老朽化した遊具の更新工事を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	活動指標 ①公園改修件数: 目標35件、実績11件 ②公園改修対象個所数: 目標42件、実績14件 ③児童遊園地改修件数: 目標18件、実績11件 ④児童遊園地改修対象個所数: 目標85件、実績12件 成果指標 ①都市公園遊具の不具合による事故件数: 目標0件、実績1件 ②児童遊園地遊具の不具合による事故件数: 目標0件、実績0件		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題					
令和7年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	令和7年度 ・みやど公園及びまぼりひがし公園供用開始 令和8年度 ・まぼりみなみ公園工事				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	59	部名	都市建設部		課名	みどり公園課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－3 地域の中の子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり					
事業名	冒険遊び場づくり事業(プレーパーク)					
事業概要	「子供の居場所づくり」と「子どもを中心とした地域社会の活性化」に寄与することを目的に、子どもの遊び場づくりの専門（プレーリーダー）を配置し、適切な安全管理を行いながら、子どもの自由な外遊びを促す機会を提供する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	基地土地暫定利用広場「朝霞の森」において、子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶことができる「プレーパーク」を、委託事業として開催した。また、引き続き朝霞の森以外の都市公園において「移動式プレーパーク」を実施した。リピーターの参加者の中には主体的にスタッフを手伝うなど自主性がみられた。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	活動指標①プレーパークの開催:実績63回 成果指標①来場者数:実績7, 886人 ＊ 関連事業:移動式プレーパーク 年間30回開催、参加人数1, 703人			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	中止や振り替え開催など参加者との情報共有、周知徹底					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	プレーパークの開催は継続することで、子どもの居場所づくりに務める					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	60	部名	生涯学習部		課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1－3 地域の中の子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもの健全な成長を支える居場所づくり					
事業名	学校体育施設の開放					
事業概要	小・中学校の運動場、体育館を開放し、子供の心身の健康づくりをサポートする。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	学校開放事業(校庭及び体育館)の実施 小学校10校 中学校5校 学校体育施設開放調整会議を開催し(6回)、団体間の利用調整を行った。 学校と利用団体で組織する学校開放運営委員会において団体間の利用調整を行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	学校体育施設開放事業利用実績 令和5年度 利用件数:5,970件 利用人数:179,816人 令和6年度 利用件数:5,587件 利用人数:169,521人			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	利用団体数の増加、利用マナーの遵守、調整方法の改善					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	61	部名	生涯学習部		課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1ー3 地域の中の子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもの健全な成長を支える居場所づくり					
事業名	放課後子ども教室					
事業概要	市内の小学校と連携し、小学校を会場とした放課後子ども教室を実施する。 (夏季・秋季) 令和7年4月の開設に向けた居場所提供型の放課後子ども教室の準備を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・夏季及び秋季の実施校:一小、三小、四小、五小、七小、十小 ・対象:市内に在住する小学生 ・期間:(夏季)夏季休業期間 各校5回実施 (秋季)土曜日 令和6年10月～令和7年2月 各校12回実施 ・種目:バランスボール、切り絵、絵本作り、書道、科学遊び、おもしろ工作、スポーツパーク、劇あそび ・令和7年度に六小、八小に設置する居場所提供型の開設準備(入退室システム導入、事業者決定等)を行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	参加者数(延べ) 夏季休暇期間 秋からの教室 令和6年度 480人 905人 令和5年度 485人 1,010人 令和4年度 251人 982人 参加者数は安定しており、需要が高いものであることが伺えた。			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	事業開催場所となる小学校の空き教室や特別教室等の確保が課題となっているが、施策目標は概ね達成することができた。 令和7年4月から居場所提供型の放課後子ども教室を開設するため、事業の周知を図り、円滑に運営管理していく必要がある。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	令和7年4月から朝霞第六小学校と朝霞第八小学校の2校で、平日及び長期休業期間の子どもの居場所となる、放課後子ども教室を実施する。令和6年度までの事業については、今後もプログラム提供型として、事業を継続する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	62	部名	生涯学習部	課名	図書館
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち				
基本方針	基本方針1-3 地域の中の子どものために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもの健全な成長を支える居場所づくり				
事業名	図書館における子ども向け事業				
事業概要	子どもを対象に、良書を読む機会を提供するため、おはなし会や読み聞かせなどを開催する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	【本館】夏休みおはなし会:2回(1日)／うさみみタイム(絵本等の読み聞かせ):47回(47日)／赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム(絵本の読み聞かせやわらべうたなど):22回(11日)／クリスマスおはなし会:1回(1日)／子ども読書の日おはなし会:2回(1日)／夏休みこども映画会:2回(1日)／子ども読書の日おたのしみ映画会:2回(1日) 【分館】絵本のよみきかせ(手遊びと絵本の読み聞かせ):12回／えんじょいきっず(図書貸出し返却事務など):4回／キッズシネマ:1回				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	〈活動指数〉①イベント件数 ●夏休みおはなし会 目標:1日2回 実績:1日2回 ●うさみみタイム 目標:毎週木曜 実績:47回 ●赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム 目標:年12回 実績:22回(年12回、午前・午後) ●クリスマスおはなし会 目標:1回 実績:1回 ●絵本のよみきかせ 目標:12回 実績:12回 ●えんじょいきっず 目標:4回 実績:4回 ●キッズシネマ 目標:1回 実績:1回 〈成果指数〉①イベント件数 ●夏休みおはなし会 目標:30人 実績:37人 ●うさみみタイム 目標:維持(未設定) 実績:495人 ●赤ちゃんとママ・パパのおはなしタイム 目標:120組 実績:123組(269人) ●クリスマスおはなし会 目標:30人 実績:67人 ●絵本のよみきかせ 目標:1回あたり20人 実績:12回 延べ263人 ●えんじょいきっず 目標:16人 実績:17人 ●キッズシネマ 目標:168人 実績:61人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	デジタルネイティブである子どもたちにとって、読書がもたらす知的好奇心の喚起、思考力の向上、楽しさを伝えることが重要になっている。引き続き、子どもの読書活動の推進を図るため、おはなし会や展示、各種イベントの実施を行うとともに、図書館と図書館で開催する事業の発信と一層の周知が課題。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	デジタルネイティブである子どもや若い世代に、読書の楽しさ、読書から得る知識や発見の喜びを知る機会を提供するとともに、子どもの健やかな成長に読書が大切であることを大人にも伝えて行く。また、子どもが図書館へ足を運びたいくなるよう、ホームページやSNS、広報紙等を使って、読書や図書館で開催するイベント等の周知を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	64	部名	生涯学習部		課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標1 すべての子どもがすくすく育つまち					
基本方針	基本方針1ー3 地域の中の子どものために					
施策の方向性	施策の方向性(2) 子ども同士の交流の機会の提供					
事業名	市民総合体育大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、ウォークラリー大会等の開催					
事業概要	スポーツ振興と市民の親睦、健康増進を図るため、小学生・中学生及び市民等を対象に、市民スポーツ大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、ウォークラリー大会等を開催する。 また、都市間交流事業として、越生町との共催でハイキング大会を開催する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市民スポーツ大会、ロードレース大会、小学生スポーツ教室、ウォークラリー大会等の開催及び都市間交流事業として越生町とのハイキング大会を開催した。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	スポーツ教室・大会の開催(市民スポーツ大会、ロードレース大会等) 回数 7回、参加者数 約6,300人			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	事業の周知、参加者確保のための広報活動、多くの人にとって魅力的と感じられるような大会内容とすることが課題となっている。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	66	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2－1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てを支える環境づくり ①情報提供の充実				
事業名	子育て情報の提供				
事業概要	子育てに関する情報を一元化した子育て情報誌を作成し、子どものいる家庭に配布する。また、子育て情報誌の内容を市のホームページに掲載し、情報提供を行うとともに、子育て情報メールで、子育て等に関する情報提供を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・子育て情報誌「あさか子育てガイドブック」を市内の児童館、子育て支援センターなどの市内公共施設等に設置したほか、母子手帳の交付時及び、子育て家庭に対して転入時に配布を行った。 ・子育て情報誌の掲載内容の見直し改定を行い、発行した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	情報を更新し新しい情報の提供を行うことができた。冊子、ホームページ、子育て情報メールと異なる媒体で情報を提供することができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	情報誌の配布方法及び、掲載する内容を検討し、内容の充実に努める。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	毎年、情報を更新し、新しい情報提供に努める。 福祉・保健・医療・教育など子育てに関する支援制度や関連施設、医療機関の情報のほか、防災に関する情報など、子どものいる家庭にとって、必要となる情報を掲載する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	67	部名	福祉部		課名	障害福祉課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2－1 すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援					
事業名	難病患者見舞金(小児慢性特定疾患患者を含む)					
事業概要	指定難病医療受給者証等の交付を受けている人に、見舞金を支給する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市内に住所を有し、埼玉県知事が発行する受給者証(次のいずれか:①指定難病②小児慢性特定疾患③指定疾患④特定疾患⑤県単独指定難病)の交付を受けている難病患者に対して、申請に基づき難病患者見舞金年額20,000円を支給。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	難病患者及びその家庭への経済的支援につながった。 年度途中で電子申請を開始したことにより利用者の利便性が向上した。			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	埼玉県が発行する受給者証の新規取得者を制度の利用へとつなげる。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	68	部名	こども・健康部		課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援					
事業名	こども医療費の助成					
事業概要	対象となるこどもに対し、医療費を助成する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・対象／こどもに対し、医療費を助成した。 ・助成内容等／通院、入院費対象:0歳児から高校3年生(18歳到達後の最初の3月31日まで) ・助成方法／通院、入院費:埼玉県内の医療機関で21,000円未満の場合は現物給付、それ以外は償還払い					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	【令和6年度活動指標】 こども医療費支給額 763,314千円 【令和6年度成果指標】 支給日に遅滞なく医療助成費が支給されている割合 100%			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)						
推進に関する課題	引き続き、こども医療費の支給を円滑に進めていく。					
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	69	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	児童手当の支給				
事業概要	子育て世帯に対して、児童手当を支給する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	子育て家庭に対し、児童手当を支給した。令和6年10月に制度改正有。 ・受給資格者／高校3年生までの対象となる児童を養育する保護者 ・手当月額 0～3歳未満:15,000円、(第3子以降は30,000円) 3歳～高校生年代(第1子・第2子):10,000円、(第3子以降は30,000円) ※所得制限なし ※第3子加算の算定対象となる年齢は、大学生年代まで(22歳年齢到達後の最初の3月31日まで) ・支給時期:4月、6月、8月、10月、12月、2月				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	【令和6年度活動指標】 児童手当支給額 2,346,305千円 【令和6年度成果指標】 支給日に手当が遅滞なく支給されている割合 100%		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続き、児童手当の支給が円滑に行われるよう努める。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	70	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	小児救急医療における朝霞地区4市との共同事業				
事業概要	医師会と連携し、救急指定病院等をローテーションして小児救急医療を実施				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・在宅当番医制運営事業(日曜・休日 午前10時～午後4時) ・小児救急医療支援事業(平日・日曜・休日 午後6時～午前8時) (日曜・休日 午前8時～午後6時) ・病院群輪番制病院運営事業(平日・日曜・休日 午後6時～午前8時) (日曜・休日 午前8時～午後6時)				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和6年度の実績・在宅当番医制運営事業では、1,695人(内小児科受診者247人)が受診できた。 ・小児救急医療支援事業では、4,005人(入院927人(内小児受診者277人)、外来3,078人(内小児受診者2,022人))が受診できた。 ・病院群輪番制病院運営事業では、1,125人(入院226人・外来899人)が受診できた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	朝霞地区4市在学、在勤者など、地区以外の利用者が属する自治体からは、この制度の運営費を負担していない。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	71	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てを支える環境づくり ②小児医療の確保と経済的な支援				
事業名	PTA連合会補助金				
事業概要	朝霞市立小中学校のPTA及び類似の団体（以下、単位PTA）と相互の連絡協調を図り、単位PTAの発展に努め、児童生徒の福祉の増進と教育の振興を促進することを目的とした団体である保護者代表連絡会に補助金を交付し、その活動を支援する。※「朝霞市PTA連合会」は、令和5年5月19日付けで「朝霞市保護者代表連絡会」と名称を変更し、朝霞市立小中学校のPTA及び類似の団体（単位PTA）をもって構成することとされた。				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	保護者代表連絡会(旧PTA連合会)に補助金を交付し、活動支援を行った。				
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度補助金交付額 169,200円		
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）					
推進に関する課題	今後も保護者代表連絡会の活動に対し、必要な支援に努める。				
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和6年度） A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	72	部名	総務部	課名	人権庶務課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	女性総合相談				
事業概要	女性総合相談事業を年間を通して実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・女性総合相談の実施(毎週木曜日 午前10時～午後4時)※令和6年度より相談時間を1時間延長 ・配偶者暴力相談支援センター相談員及び女性総合相談員研修・交流会(1回)の実施 ・その他、パネル展、イベントなどにより相談窓口の周知を行うなど、相談体制の充実を図った。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	女性総合相談 年間実施日数 51日 年間相談者数 82人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	相談内容は複雑化、複合化し多岐にわたるため、引き続き、相談窓口の周知を図るとともに、女性総合相談だけでなく、関係機関やDV相談等、必要な相談先等につないでいく。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	73	部名	市民環境部		課名	産業振興課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(2)家庭における子育て支援の充実					
事業名	内職相談事業					
事業概要	週 2 回、市民相談室において内職の相談・斡旋事業を実施している。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・毎週火曜日・金曜日の午前9時から午後4時まで(最終受付午後3時30分まで)実施している。 ・市ホームページに情報を掲載することで周知を図っている。また、チラシを作成し、市内公共施設等に配架している。 ・令和6年度の求職相談件数は135件、うち紹介件数は15件・令和6年度の求人相談件数は5件					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	C	事業の実施により得られた成果	活動指標 内職相談実施回数 目標・計画 100回 実績 95回 成果指標 内職相談人数 目標・計画 200人 実績135人 内職紹介件数 目標・計画 20人 実績 15人			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	相談人数は昨年度と比較して減少し、依然として目標に対し低い水準であるため。					
推進に関する課題	働き方が多様化する中で、家内で働くことを希望する方に対し、より広く情報を周知することが課題である。また、他市においては、相談業務を終了し、内職情報一覧の配布に切り替える動きもあるため、相談事業のあり方について、市民ニーズや他市の動向を注視しながら検討する必要がある。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	今後も引き続き効果的な情報発信を模索するとともに、新たな求人を開拓し、求職者とのマッチングにつながるよう努めていく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	74	部名	生涯学習部		課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(2)家庭における子育て支援の充実					
事業名	あさか学習おとどけ講座					
事業概要	関係各課や企業等との連携、協力を得て、市民の学習の場として講座を提供する「あさか学習おとどけ講座」を実施する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	令和6年度のあさか学習おとどけ講座の登録件数は、行政メニューが73件、企業メニューが6件だった。また、あさか学習おとどけ講座の利用件数は13件、利用延べ人数は373人だった。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	あさか学習おとどけ講座の事業後に実施したアンケートでは、「満足した」、「やや満足した」という回答が、97.7%（「あまり満足しなかった」、「その他」、「無回答」は6件）という結果となり、利用した方々からは概ね好評をいただいた。			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	家庭での教育力の向上を図るため、子どもや子育てに関わるメニューの充実に努める。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	75	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	家庭教育学級の支援				
事業概要	・家庭での教育力の向上を図るため、子育てサークル、PTA等の家庭教育学級の学習活動を支援し、子どもや子育てに関わる各種講座・教室の充実を図る ・子育て講座を実施する				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・家庭教育学級(サークル4団体、PTA等3団体)に補助金を交付し、家庭教育学級の開催及びその学習活動を支援した。 ・子育て講座を3回実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	①家庭教育学級数: 7団体 ②家庭教育学級参加者数: 326人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続きPTA等団体及びサークル、保護者や一般市民に対し、家庭教育の重要性と家庭教育学級事業の周知に努める。また、学んだ保護者(学級生)が、今後も学びを継続できるよう、PTA等団体やサークルが情報を共有し、相互に連携を深めるとともに、保護者同士の結びつきを強める必要がある。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	76	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	家庭教育学級事業補助金				
事業概要	・家庭での教育力の向上を図るため、子育てサークル等の家庭教育学級活動に補助金を交付する。 ・家庭教育学級活動報告集を作成し、各学級の活動を広く紹介し、家庭教育の重要性を啓発する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・家庭教育学級(サークル4団体)に補助金を交付し、学習活動の支援を行った。 ・各学級がそれぞれに学習活動を行った。 ・家庭教育学級活動報告集を作成し、学級生等に配布した。 ・子育て講座を3回実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	①家庭教育学級数: 4団体 ②家庭教育学級参加者数: 122人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続きサークルや市民に対して事業のPRに努める。 また、学んだ保護者(学級生)が、今後も学びを継続できるよう、PTA等団体やサークルが連携を深め、保護者同士の結びつきを強める必要があり、家庭教育学級の活動・運営等に対する相談体制の充実を図り、団体への必要な支援に努めていく。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	77	部名	生涯学習部	課名	生涯学習・スポーツ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	家庭教育学級補助金				
事業概要	・家庭での教育力の向上を図るため、PTA等の家庭教育学級活動に補助金を交付する。 ・家庭教育学級活動報告集を作成し、各学級の活動を広く紹介し、家庭教育の重要性を啓発する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・家庭教育学級(PTA等3団体)に補助金を交付し、学習活動の支援を行った。 ・家庭教育学級活動報告集を作成し、学級生等に配布した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	①家庭教育学級数:3団体 ②家庭教育学級参加者数:204人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	引き続き継続して、幼稚園、小・中学校のPTA等に家庭教育の重要性を啓発するとともに、事業のPRに努める。また、学んだ保護者(学級生)が、活動を継続して行うことができるよう、PTA等団体やサークル間の連携を深め、必要に応じて支援する。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	78	部名	生涯学習部	課名	中央公民館
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 家庭における子育て支援の充実				
事業名	子育て(育児)講座				
事業概要	・人間形成に大切な乳幼児期についての知識を習得し、また、同じ世代の子どもを持つ保護者同士の交流等を通して子育ての悩みや育児不安の軽減と仲間づくりを促進する。 ・各種講座の開催				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・こども天体教室、サイエンスキッズ(中央公民館) ・子どもふれあい広場、育児パパ・ママ応援講座(東朝霞公民館) ・伝統文化講座、レッツチャレンジ、育児講座(西朝霞公民館) ・南っ子クラブ(南朝霞公民館) ・子育て講座、わんぱくキッズランド(北朝霞公民館) ・子どもランド(内間木公民館)				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・こども天体教室: 定員15組30人 受講者16組32人 ・サイエンスキッズ: 定員計80人 受講者38人 ・子どもふれあい広場: 2講座定員31組 受講者70人 ・育児パパ・ママ応援講座: 2講座定員21組 受講者51人 ・伝統文化講座: 1講座定員18人 受講者14人 ・レッツチャレンジ: 7講座定員計122人 受講者177人 ・育児講座: 5講座定員計144組288人 受講者66組171人 ・南っ子クラブ: 3講座定員計42人 受講者44人 ・子育て講座: 2講座定員計54人 受講者36人 ・わんぱくキッズランド: 2講座定員計27人 受講者24人 ・子どもランド: 2講座定員計55人 受講者70人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	今後も公民館の事業への期待は高いものと考えられる。引き続き、こども向け講座や子育て関連講座を充実させていく。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	79	部名	生涯学習部		課名	図書館
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2ー1 すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(2)家庭における子育て支援の充実					
事業名	ブックスタート事業					
事業概要	月 2 回 4 か月児健診の受診者に赤ちゃん絵本を配布し、読書のきっかけとする。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	4か月児健診の受診の際に、ブックスタート・ボランティアによる読み聞かせや読書相談を行い、ファーストブックとなる絵本を配布した。絵本を読む楽しさ、乳幼児とのコミュニケーションや発達に絵本が有用であることの体験を提供するとともに、読み聞かせの啓発や、図書館利用の案内を直接行った。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	R6年度開催予定:24回 実施:24回 受診者数:1,076人 パック配布数:1,066パック			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	4 か月児健診受診者の 9 9 %の参加がある。絵本の手渡しとともに実施している読み聞かせの体験や乳幼児期の読書相談に、母（保護者など）と子の反応は良好で、少人数による直接アプローチの効果を実感している。今後も、ボランティアと協力しながら確実に進めていく。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	保健センターの協力も得ながら、引き続き、朝霞の乳幼児に優れた絵本をファーストブックとして贈るとともに、読み聞かせ体験や乳幼児期の読書のアドバイス等を通じ、母子の触れ合い、読書啓発を推進する。また、続くフォローアップ事業「赤ちゃんともママ・パパのおはなしタイム」や、ブックスタートに先立つ妊娠期の母と家族向けの「プレママ・パパ絵本講座」についても周知を図り、一層の切れ目のない読書支援を図っていく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	81	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	子育て電話相談				
事業概要	子育て中の保護者を対象に、子育て支援センターにおいて乳幼児の育児に関する相談を受ける。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	さくら子育て支援センターに、電話相談専用回線を設け、育児全般の相談を受けた。 受付:月～土曜日 午前9時～午後5時				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	生活習慣、発育・発達・障害、予防接種に関する相談などをを受け、アドバイスすることにより、保護者の不安を解消することができた。 さくら子育て支援センター 電話相談件数:83件(前年度比2件増)		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	子育てに関する相談を電話でも受けることで、外出が困難な保護者に対しても、育児に関する相談の場を提供できたことにより、不安が解消され育児支援ができたと考えたため。				
推進に関する課題	さくら子育て支援センター以外の、市内7か所のセンターにおいても相談を受け付けているが、電話相談専用回線があるのは、さくら子育て支援センターのみである。他のセンターでは、事業や来所の予約も電話で受け付けていることから、長時間の電話相談に応じることが難しく、さくら子育て支援センターの電話番号の周知を進める必要がある。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	引き続き、市HPやSNSを通じて、子育て支援センターの電話相談事業を周知していく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	82	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課（こども家庭センター）
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2－1 すべての子育てで家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	母子保健相談事業				
事業概要	妊娠期から妊娠・出産・育児に関して、訪問・面接・電話等での保健師・栄養士・助産師等が個別の相談を受け、子どもとその保護者の健康保持・増進のための支援を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	電話・面接・訪問による育児や健康に関する相談や指導等の支援を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度相談件数 面接: 448件、電話: 2, 172件		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	育児支援が必要なケースや児童虐待のリスクのある世帯も含めて、適切な時期に相談を行えるよう、関係機関との情報共有や連携を図り、支援の強化を図る。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	83	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課(こども家庭センター)
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	栄養相談事業				
事業概要	来所や電話での個別の栄養指導。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	乳幼児期や児童期の食生活の不安や疑問に対応するため、随時、来所や個別栄養 相談を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和6年度実績 相談件数:338件		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	保育園や医療機関等との連携や情報共有の進め方、連携策の方針等の調整を 行っていく。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	84	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課(こども家庭センター)
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	妊婦健康診査				
事業概要	母子手帳交付時に、妊婦健康診査・産婦健康診査助成券の交付を行い、その費用の一部を助成し、妊産婦期の健康管理を勧める。 ※令和5年度より産婦健康診査1回分の助成が追加になっている。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・妊婦健康診査助成(委託医療機関分) ・委託医療機関以外の医療機関を受診している妊婦にたいして補助金を交付。 一人あたり補助金上限:107,990円				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度 活動指標:妊婦健康診査公費負担回数 目標・計画:14回 実績:15回(うち1回は産婦健診) 成果:妊婦一般健康診査受診者数 1,197人 妊婦一般健康診査受診率(1回目を評価) 目標・計画:97% 実績:97.7%		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	本事業は、妊婦健康診査に係る経済的負担の軽減を図れることから、母子の健康管理のためにも、効果的な活用が図られるよう、妊娠届出時等の周知を徹底する必要がある。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート				
事業番号	85	部名	こども・健康部	課名 健康づくり課（こども家庭センター）
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち			
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために			
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援			
事業名	母子健康教育事業			
事業概要	母性または乳幼児の健康の保持増進に必要な知識や技術について、集団や個別で相談および教育を行う。			
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	マタニティ教室:18回／年 母と子のつどい:3回／年 離乳食スタート教室:24回／年 離乳食ステップアップ教室:12回／年 すこやか相談(発育発達相談):6回／年			
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度実績 マタニティ教室実施回数 目標:18回 実績:18回 マタニティ教室参加満足度 目標80% 実績:93%	
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)				
推進に関する課題	コロナ以降、病院での教室実施がオンライン開催や未開催のところもまだあり、対面での実施で、体験ができる本事業のニーズは高いことから、より多くの方に参加いただけるよう、内容を検討する必要がある。			
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続			
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント		

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート				
事業番号	86	部名	こども・健康部	課名 健康づくり課（こども家庭センター）
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち			
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために			
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援			
事業名	乳幼児健康診査			
事業概要	乳児（4か月児・10か月児）及び乳児（1歳6か月児・3歳児）に対する健康診査及び保健指導を実施。			
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	•4か月児健康診査 24回／年 •10か月児健康診査 24回／年 •1歳6か月児健康診査 24回／年 •3歳児健康診査 24回／年 1歳6か月児歯科健康診査 24回／年 3歳児歯科健康審査 24回／年			
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度実績 活動指標:乳幼児健康診査実施回数 目標値96回 実施:96回 成果指標:乳幼児健康診査受診率 目標値:95% 実績97.4%	
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）				
推進に関する課題	乳幼児健康診査では、母子保健の視点と児童虐待予防の視点の両面から、未受診者の把握及びその支援のあり方について、関係機関と連携して対応していく必要がある。			
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業の継続			
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和6年度） A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント		

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	87	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課（こども家庭センター）
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	歯科保健事業				
事業概要	乳幼児に対して歯の健康診査、フッ化塗布、保健指導、教育を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	3歳児フッ化物塗布(3歳児健康診査) 幼児歯科健康診査(5歳児歯科健康診査)				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	活動指標:フッ化物塗布実施回数 目標値:24回 実績:24回 成果指標:フッ化物塗布率 目標値:85% 実績:73.7%		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	乳幼児期から高齢者まで生涯にわたり、歯科保健対策をすすめる必要がある。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	88	部名	こども・健康部		課名	健康づくり課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2－1 すべての子育て家庭のために					
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援					
事業名	各種予防接種の実施					
事業概要	子どもを対象に、定期的に予防接種を実施					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	定期予防接種の種類 ロタウイルス、B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、五種混合、BCG、麻しん・風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、ヒトパピローマウイルス					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度の実績定期予防接種の実施者数 ロタウイルス 2,696人、B型肝炎 3,326人、ヒブ 1,183人、 小児用肺炎球菌 4,419人、四種混合 1,456人、五種混合 3,140人、 BCG 1,078人、麻しん・風しん混合 2,318人、水痘 2,191人、 日本脳炎 4,877人、二種混合 1,028人、ヒトパピローマウイルス 1,134人			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	特になし					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	予防接種法に基づく各種予防接種を継続して実施する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	89	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課（こども家庭センター）
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	母子健康手帳交付事業				
事業概要	子育て世代包括支援センターで妊娠の届出時に母子手帳を交付する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	妊娠届出時に母子健康手帳を交付する。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和6年度実績 妊娠届出数 1,225人 うち妊婦との面談数 1,171人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	妊娠届出の時期は、妊娠初期で体調がすぐれない妊婦も多く、すべての妊婦と直接面接することは難しい。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	90	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課（こども家庭センター）
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	未熟児養育医療費給付事業				
事業概要	入院医療が必要な未熟児に対し、医療費の給付を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	未熟児で出生した子どもに対し、必要な医療の給付を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	未熟児養育医療処理件数 目標値:100回 実績:162回 成果指標:未熟児養育医療給付人数 目標値:40人 実績:65人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	91	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課（こども家庭センター）
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-1 すべての子育て家庭のために				
施策の方向性	施策の方向性(3)生まれる前から乳幼児期までの一貫した支援				
事業名	妊娠期からの包括的な子育て支援				
事業概要	妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）で、保健師等の専門職がすべての妊産婦等を継続的に把握し、必要に応じて支援プランを作成し、妊産婦に対して切れ目のない支援を図る。				
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	母子健康手帳の交付をとおして、保健師等の専門職がすべての妊産婦等の状況を把握する。 必要に応じて支援プランを作成することにより、妊産婦に対し、面談・訪問・電話等を行い、切れ目のない支援を図る。また、退院直後の母子についても心身のケアや育児サポート等を行う（訪問型）。				
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度実績 妊娠届出数 1,225人 うち妊婦との面談数 1,171人 乳児全戸訪問件数 1,076件		
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）					
推進に関する課題	妊娠届出の時期は、妊娠初期で体調がすぐれない妊婦も多いことや、子育て世代包括支援センターが1箇所であるため、利便性の課題がある。				
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	引き続き、北朝霞方面への設置について検討する。また、訪問での対応など柔軟な対応を行う				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和6年度） A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	92	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てネットワークの充実					
事業名	子育て支援センター事業					
事業概要	子育て中の保護者と児童を対象に、子育て支援センターにおいて、子育てに関する相談を受けるほか、各種事業を実施し、子育てサークルに活動場所を提供するなど支援する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	子育てに関する相談、指導、各種事業(誕生会、身体計測、食の安心サロン、児童の月齢に応じた集り等)を企画・実施した。 また、市内子育て支援センター8か所の職員を集めたセンター会議を2回開催し、行事の開催方法や支援センターのPRなど、各センターで実施している内容を共有するとともに、各センターの改善に取り組んだ。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	市内子育て支援センター 全8か所 (公設公営2か所、公設民営2か所、民設民営4か所) 来所者数(公設公営のみ) 22,727人(前年度比504人減) 事業参加者数(公設公営のみ) 3,463人(前年度比633人減) 相談者数(公設公営のみ) 208人(前年度比2人増) 電話相談件数(公設公営のみ) 88件(前年度比2人増)			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	子育て支援センターは、気軽に相談できる地域拠点として定着しており、引き続き、利用しやすい環境整備とPRに努めていく必要がある。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	子育て支援センターの利用については、子どもを遊ばせる場所としてだけではなく、育児の悩み等も相談でき、同年齢の子どもを持つ親に知り合える場所として、利用しやすい環境づくりに取り組む。 公設公営のセンターには、公立保育園の園長経験者を配置しており、保育に関わる以外の福祉分野に関する知識について他の職員にも共有することで、職員全体のスキルアップを図る。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	93	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2ー2 地域における子育てのために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子育てネットワークの充実					
事業名	保育園園庭開放・いっしょに遊ぼう保育園で					
事業概要	保育所の遊びを通して未就園児の子育て家庭を支援するため、公立保育所の園庭を開放する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	毎月2回、園庭で体操したり、日頃あそんでいる体操遊具(トンネル等)を出して自由にあそぶ。令和6年度から出張家庭児童相談室事業を中止したものの、利用者数に影響は見受けられなかった。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度 利用者数:大人857人 子ども830人 合計1,687人 令和5年度 利用者数:大人730人 子ども757人 合計1,487人			
自己評価ランクの理由 (令和4年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	着実に利用者数は増加しているが、更に多くの利用者へ周知できるよう新たな周知媒体も模索していく。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	引き続き、市保育課公式X(旧ツイッター)等で周知を行いながら、「園庭開放(いっしょにあそぼう保育園で)」として、毎月2回の園庭開放の中で自由にあそぶ事業を実施する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和5年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	94	部名	こども・健康部	課名	こども未来課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(2)子どもの健全育成の充実				
事業名	青少年育成事業				
事業概要	青少年健全育成団体に補助金を交付し、団体の活動を支援するとともに、関係機関・学校・地域と連携して、青少年健全育成啓発活動を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・青少年健全育成団体に補助金を交付し、団体の活動を支援した。 ・青少年健全育成の集い、ふれあい体験事業、駅頭キャンペーン、ふれあい標語、青少年を守り育成する家等の啓発活動事業を実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・青少年健全育成活動事業数 8回 ・青少年健全育成活動事業延べ参加者数 5,093名		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	青少年教育を所管する関係課と引き続き連絡調整を図るとともに、関係団体・学校・地域が連携して事業を実施できるよう努める。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 関係団体・地域・学校と家庭の協力、連携のもと体験事業や青少年健全育成の集いなど様々な事業を通じて、地域とのつながり、世代間交流の促進が図られた。引き続き次世代を担う青少年の育成に地域全体で取り組んでいきたい。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	96	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(2) 子どもの健全育成の充実				
事業名	朝霞市ふれあい推進事業				
事業概要	地域における奉仕活動、体験活動等を展開し、心豊かな青少年の育成を図るとともに、地域で子供を育てる意識を醸成し、地域の教育力の活性化を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・朝霞市ふれあい推進事業推進委員会を組織し、事業の推進方策の検討・運営を行い、各中学校区での主催事業を支援した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・学校と地域や家庭が連携し、子どもの健全育成に向けて地域に根差した活動を展開することができた。 ・事業参加者数 実績6,886人(前年度比 -931人) ・今年度は朝霞第二中学校区が雨天のため中止となった。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	令和4年度は新型コロナウイルスの影響により、2つの中学校区で実施できなかったが、令和5年度は全ての校区で開催でき、参加者も増加したため。				
推進に関する課題	・各中学校区での運営面での負担が大きい。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 5つの中学校区でふれあい推進事業を実施する。 5月26日に第1回ふれあい推進事業実行委員会を開催した。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	97	部名	市民環境部		課名	産業振興課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために					
施策の方向性	施策の方向性(3) 世代を超えた子育て支援の推進					
事業名	農業体験事業					
事業概要	市内の農家の協力のもと、都市農業への理解を深めるため、芋ほり、人参ほりなどの体験を通じて地域との交流を図る。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・ 6月 じゃがいも掘り体験 参加組数(人数):200人(96組) ・ 10月 さつまいも掘り体験 参加組数(人数):192人(95組) ・ 12月 にんじん掘り体験 参加組数(人数):125人(83組) ・ 1月 冬野菜収穫体験 参加組数(人数):85人(45組)					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	活動指標 農業体験の開催回数 目標・計画:4回 実績:4回 成果指標 農業体験の参加組数 目標・計画:340組 実績:319組			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	実績は目標を下回っているが、これは参加者決定後キャンセルによるもので、申込はいずれも定員を超過し、目標を達成することができた。					
推進に関する課題	農業体験事業は、生産者の協力が必要不可欠あり、当該事業が継続できるよう普段から生産者とコミュニケーションを図る必要がある。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	体験内容を見直しながら、引き続き事業を進めていく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	98	部名	福祉部	課名	長寿はつらつ課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-2 地域における子育てのために				
施策の方向性	施策の方向性(3) 世代を超えた子育て支援の推進				
事業名	児童館における高齢者と児童の交流事業				
事業概要	老人クラブ会員が児童館事業の伝承遊びの講師として指導することにより、世代間の交流を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	◆浜崎老人福祉センター 1 バンパーゲーム世代間交流会 目 的:異世代間交流 実施日:R6.10.18(金) 対象者:老人福祉センター利用者、児童館利用者 参加者:8名(うち児童5名) ※児童がバンパーゲームをやりたいとの申し出があれば、その都度高齢者とともにバンパーゲームを行っている。 ◆溝沼老人福祉センター 1 老人センターへ行こう(ビンゴ・昔あそび) 目 的:異世代間交流 実施日:R6.8.22(木) 対象者:老人福祉センター利用者、児童館利用者 参加者:23名(うち児童13名) 2 世代間交流事業(バンパーゲーム) 目 的:異世代間交流 実施日:R6.12.7(土) 対象者:老人福祉センター利用者、児童館利用者 参加者:9名(うち児童4名)				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度)	B	事業の実 施により 得られた 成果	両センターとも、児童館と連携しながら事業を実施し、異世代交 流を図ることができた。		
自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない					
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)			令和5年度と比較し、参加者が減少しているため。		
推進に関する課題	多くの児童や高齢者に参加していただける事業の検討。				
令和7年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	多くの児童や高齢者に興味を持っていただける事業内容について、社会福祉協議 会等と検討を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	99	部名	危機管理室	課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	防犯灯設置工事費補助金の交付				
事業概要	地域の方々による防犯活動の推進を図るため、通学路を含めた道路などに設置する防犯灯に関する工事費を自治会・町内会等に補助する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	新たに防犯灯を設置する自治会・町内会等に対し、補助金を交付した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	令和6年度成果目標「夜間の照明確保」 目標:適切に確保 実績:適切に確保		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	事業内容について、自治会・町内会等との協働が今後の課題であるため。				
推進に関する課題	自治会・町内会等との協働				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	100	部名	危機管理室	課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	防犯灯維持管理費補助金の交付				
事業概要	地域の方々による防犯活動の推進を図るため、通学路を含めた道路などに設置した防犯灯の維持管理に関する費用を自治会・町内会等に補助する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	自治体・町内会等が設置した防犯灯の維持管理(電気料金)に対する補助を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	令和6年度成果目標「夜間の照明確保」 目標:適切に確保 実績:適切に確保		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	事業内容について、自治会・町内会等との協働が今後の課題であるため。				
推進に関する課題	自治会・町内会等との協働				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	101	部名	危機管理室	課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	広報による防犯啓発活動				
事業概要	防犯に対する意識啓発のため、市広報に防犯記事の掲載、防犯研修会・防犯街頭キャンペーンを実施する。また、青色防犯パトロールを運行し、注意喚起を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・青色防犯パトロールカーを運行し、注意喚起を行う。 ・毎週ホームページに朝霞警察署からの地域防犯ニュースを掲載している。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	青色防犯パトロールカーを243日運行		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	102	部名	危機管理室	課名	危機管理室
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	朝霞防犯パトロール隊の認定				
事業概要	地域の方々による防犯活動の推進を図るため、防犯パトロールを実施する自主防犯組織を朝霞市防犯パトロール隊として認定する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・防犯パトロールを実施する自主防犯組織の活動報告により、市内の防犯活動の状況把握を行う。 ・年間をとおして活動した自主防犯組織に対し、感謝状を贈呈する。 ・防犯パトロールを実施する自主防犯知識に対する補助を行う。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実施により得られた成果	令和6年度成果目標「自主防犯パトロール団体数」 目標:65団体 実績:61団体		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	自治会員の高齢化により新たに防犯パトロールを結成してもらうことが難しいため。				
推進に関する課題	自治会・町内会等との協働及び新規自主防犯パトロール団体の結成の推進				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	103	部名	学校教育部	課名	教育総務課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	防犯ブザーの貸与				
事業概要	小・中学生全員に防犯ブザーを貸与する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	朝霞市内の小・中学校全児童生徒のほか、市内在住で国立・私立等の小・中学校へ 通学し貸与を希望する児童生徒に対し、登下校時及び放課後の安全対策の一環と して防犯ブザーを貸与する。また、貸与時に使用方法等を指導する。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	継続(目標値等の設定なし)		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現状事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	104	部名	学校教育部	課名	教育管理課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	通学路の安全点検				
事業概要	毎年通学路の危険箇所について安全点検を行うことにより、通学路の安全確保に努める。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	各学校において通学路安全点検を行うことにより、学校等から報告を受けた通学路の危険箇所について市役所の関係各課と協力し、整備や修繕を行うことで、通学路の安全対策を図っていく。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	各学校等から報告を受けた通学路の危険箇所の多くの部分において、整備や修繕を行うことで、通学路の安全が確保された。また、通学路の危険箇所について市役所と学校とで認識の共有が図られた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	105	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	朝霞市生徒指導委員会の開催				
事業概要	生徒指導に関する実質的な課題解決のために、朝霞市生徒指導委員会を開催し、生徒指導に関しての連携を図る。学校間の情報交換をはじめ、非行・問題行動等の対策について協議する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	委員会を年に2回開催し、情報交換を行うとともに、連携を図った。また、朝霞市小・中連携推進協議会を同時開催し、各中学校区で実質的な生徒指導上の連携を強化した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・朝霞市小・中連携推進協議会を発足させ、各中学校区で実質的な生徒指導上の連携を強化した。 ・学区内外の生徒指導に関する取組についての情報交換及び、新しい知見の情報提供ができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	小学校と中学校の実効性の高い行動連携。及び各中学校区での特色ある取組。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	106	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	朝霞地区学校警察連絡協議会の開催				
事業概要	学校と警察が連携し、犯罪から児童生徒を守るための連絡会を開催する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・総会・全体協議会を実施。 ・第2回総会、講演会及び朝霞警察署との情報交換会を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	B	事業の実 施により 得られた 成果	子どもたちをそれぞれの立場から見ることや、行動連携により、子 どもたちの健全育成に努めることができる。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)	過渡期を迎え、事業内容を検討しているため。				
推進に関する課題	各市立小・市立中・朝霞警察管内高等学校と警察、教育委員会との行動連 携。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	・5月中旬、役員会開催。 ・5月下旬、全体協議会を開催。 ・10月中旬、第2回役員会開催。 ・10月下旬、講演会及び朝霞警察署との情報交換会を実施。 ・2月上旬、第3回役員会開催。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	107	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	通学路等での定期・臨時パトロールの実施				
事業概要	学校付近や通学路をPTAやボランティア等が連携してパトロール活動を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・スクールガードリーダー及びボランティアが連携してパトロールを行った。 ・スクールガード・アドバイザーとの連絡回数を増やした。 ・スクールガードを対象とした講習会を開催し、埼玉県県民生活部の職員による講演を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	目標値等は定めていない 継続		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	各学校のスクールガード・リーダー同士の連携がなかなか取れない。 中学校・小学校での見守り活動の連携。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	・現行事業の継続 ・スクールガード養成講習会を実施する際、各学校のスクールガード・リーダーの方 に出席してもらうよう依頼し、開会前に顔合わせを実施する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	108	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ①子どもが犯罪に巻き込まれない社会づくり				
事業名	非行防止教室の実施				
事業概要	各学校が保護者、地域、警察等の関係機関と連携を図り、児童生徒の非行・問題行動等の予防・根絶を図ることを目的とし、講演会等の取組を実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	各学校の実態に応じ、朝霞警察や埼玉県警、NPO等と連携し、非行防止教室(講演会等)を開催した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	各学校の実態に応じて、教員の話だけでなく、警察官をはじめとする専門家から、より具体的な内容の話を聞くことで、子どもたちの規範意識を高めることができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	警察、関係機関、学校の連携。保護者の参加。学校の実施状況の把握。児童生徒の実態に応じたテーマ設定。スマートフォン等が関係するトラブルや非行を防ぐための啓発。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	109	部名	都市建設部		課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり					
事業名	道路区画線の工事					
事業概要	グリーンベルトや外側線等の新設及び摩耗した区画線の引き直しを行い交通安全の確保に努める。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	市民(自治会・小学校等)からの要望を受け、朝霞警察署等の関係機関と連携の上、外側線・グリーンベルト等の新設及び摩耗している区画線の復旧工事を実施し、車両の通行帯を明確にすることで歩行者の安全確保に努めた。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	道路区画線等路面表示 5466.5 m グリーンベルト等のカラー表示 88.6 m ²			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	本来であれば、長期的、中期的な視点に基づき、配置や予算に対する事業計画を立てて実施するべきであるが、対応に緊急性があることから随時対応を行っている。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	110	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	交通立看板、警戒標識等の設置				
事業概要	道路交通環境の整備として、交通事故発生箇所などを再点検し、交通安全の確保を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	通学路等における危険箇所や、自動車・自転車運転者などへの注意喚起を促すため、交通安全啓発看板を設置した。 また、現地の状況に応じ、不必要となった看板の撤去などを行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	交通安全啓発看板の作成、設置数 R6実績 33枚 危険な箇所に対する注意喚起を行うことで、安全意識の向上を図ることができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	看板の設置にあたっては、道路構造に適したものを設置する。また、既存の看板等の維持管理が必要になる。 そのほか、現地の状況に応じ、情報量が多くなりすぎないように設置看板の数を調整することにも留意する。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	111	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	新入学児童への交通安全教育の実施				
事業概要	新入学児童を対象に教育用信号機を使った交通安全教育を警察署員、各小学校教員が実施する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	新入学児童を対象に、教育用信号機を用いた交通安全教育を警察署、小学校等の 関係機関による連携のもと実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	安全教育の実施により、交通ルールを学ぶとともに、交通安全意 識の高揚につながった。 【実施数】 小学校 10校		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	112	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	保育園児、幼稚園児に交通ルールの指導				
事業概要	パネルシアターやビデオ上映等を行い、園児に正しい交通ルールを警察署員が指導する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	保育園児、幼稚園児を対象に、プロジェクターを使った交通安全教育を警察署員が実施した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	安全教育の実施により、交通ルールを学ぶとともに、交通安全意識の高揚につながった。 【実施数】 保育園: 34園 幼稚園: 8園 合 計: 42園		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	年々、対象保育園が増加しており、保育園の行事等の関係上、日程調整が困難になってきている。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	113	部名	都市建設部		課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり					
事業名	交通安全運動チラシによる啓発活動					
事業概要	交通事故防止、交通安全意識の普及を図るため、啓発活動を展開する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	四半期ごとに実施している街頭活動のほか、市ホームページや広報あさかへの交通安全に関する啓発記事の掲載、朝霞市防災フェアに交通安全ブースを出展した。また、交通安全作品の受賞作品を基に横断幕、ポスター、立て看板を作成する等、様々な機会を捉えて交通安全等に関する啓発を実施した。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	交通安全作品コンクール(小学生対象) 応募作品 815点 受賞作品 16点			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	特になし					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	114	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)子どもが犯罪・事故に巻き込まれない社会づくり ②子どもが交通事故に巻き込まれない社会づくり				
事業名	自転車運転免許制度の実施				
事業概要	朝霞警察署が主体となり、市内小学校4年生児童全員に、自転車運転の試験を行う。その結果、免許を児童がもらい、安全に自転車に乗るよう指導していく。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	・夏季休業の事故防止と安全意識を向上させるため、5月～6月に市内小学校4年生を対象に自転車免許運転実技試験の実施を計画し、朝霞警察署、学校、まちづくり推進課、交通指導員、教育管理課、教育指導課が協力し、自転車を安全に運転するために大切なことについて指導した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	目標値等は定めていない。 継続 コロナ禍前の通常の形態で実施できた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	交通ルールを守る姿勢を育むとともにヘルメットの着用を推進する。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	事業を継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	115	部名	総務部	課名	財産管理課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり				
事業名	すべての方が利用しやすい公共施設の整備				
事業概要	市民の意見・要望を踏まえ、すべての方が利用しやすいよう市内の公共施設の整備を推進する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	令和6年度は朝霞第六小学校校舎増築工事や朝霞第九小学校校舎増築工事、武道館耐震等改修工事、仲町市民センター大規模改修工事、市庁舎長寿命化改修工事基本設計業務委託、(仮称)朝霞市福祉等複合施設建設工事基本設計業務委託、中央公民館長寿命化改修工事設計業務委託、においてエレベーターの設置やその他ユニバーサルデザイン・バリアフリー化について工事及び設計を行った。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	すべての方が利用しやすい公共施設となる整備を行うための設計、工事を行った		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	市民の意見・要望を踏まえ、すべての方が利用しやすいよう市内の公共施設の整備を引き続き推進する。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	朝霞市公共施設等マネジメント実施計画に基づき、施設の長寿命化改修、大規模改修工事等を行う際に、併せてユニバーサルデザインの深化、バリアフリー化の推進を図る。 令和7年度は仲町市民センター大規模改修工事、中央公民館長寿命化改修工事や市庁舎長寿命化改修工事実施設計業務委託、(仮称)朝霞市福祉等複合施設建設工事実施設計業務委託において、ユニバーサルデザイン・バリアフリー化について工事及び設計を行う予定。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	116	部名	都市建設部	課名	まちづくり推進課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり				
事業名	都市計画道路整備事業				
事業概要	都市計画道路を整備することで、歩車道の分離や自転車通行帯の整備などを図り、歩行者や自転車の安全性の確保を目指す。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	用地交渉の進展に伴い、不動産鑑定及び補償積算委託を実施し、都市計画道路に係る新たな事業用地を取得した。 また、すでに取得済みの事業用地について、除草委託及び歩道整備工事を実施し、適切な維持管理に努めた。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	新たな事業用地の取得:532.61㎡ 取得済みの事業用地の維持管理 除草:延べ865㎡、歩道整備工事:21.2m		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	歩行者や自転車の安全性の確保を目指す都市計画道路の整備に関して、新たな事業用地の取得や取得済みの事業用地の維持管理について着実に進捗しているので、今後も現行事業を継続する。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	117	部名	都市建設部		課名	道路整備課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち					
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために					
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり					
事業名	市道整備・道路管理の充実					
事業概要	主要市道に歩道を整備し、歩行者等の安全を確保する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	用地の協力が得られた箇所について歩道整備を行うことで、歩行者等の安全を確保した。 市道19号線歩道築造工事 市道18号線歩道築造工事 市道1号線他歩道築造工事 市道90号線歩道築造工事					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	令和6年度 活動指標 歩道整備延長 目標 L=100m 実績L=201m 成果指標 歩道整備率 目標 100% 実績 201%			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	歩道整備の実績が目標を大きく上回り、歩行者等の安全を確保することができたため。					
推進に関する課題	歩道整備のための用地交渉にあたり、厳しい財政状況の影響や関係地権者の理解と協力を得られないこともあり、一気に進捗しない難しさがある。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	118	部名	学校教育部	課名	教育管理課
基本目標	基本目標2 すべての家庭が安心して子育てするまち				
基本方針	基本方針2-3 子どもの安心・安全のために				
施策の方向性	施策の方向性(2)ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり				
事業名	学校施設に対する教室等の空気検査				
事業概要	・教室等の空気検査を小中学校5校で実施（全15校を5校毎にローテーション実施） ・ダニの検査を小中学校15校で実施				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	・中学校5校の教室等のホルムアルデヒド及びトルエン含有量の分析を実施 ・各小中学校の保健室等の寝具等のダニ検査を実施				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	教室等の空気検査及び保健室等のダニ検査を実施することにより児童生徒に対して良好な学校環境の維持が図られた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題					
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	現行事業を継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	119	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3－1 教育・保育の充実のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備					
事業名	保育事業					
事業概要	仕事や疾病などで、家庭において子どもを保育できない場合に、保護者に代わって保育園や小規模保育事業での保育を行う。また、待機児童解消のため、適切な定員設定や保育施設の整備を進める。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	適切な定員設定のため、令和5年4月入所に引き続き、令和6年4月入所の定員について公設保育園における0歳児の受入人数を減少して設定した。このことにより、翌年度の1歳児の受入人数を増やすことに繋げた。 また、待機児童解消に向けて、小規模保育施設1施設の令和7年4月に開所する手続きを進めた。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	受入定員 4,045人(令和7年4月1日) 保育園 3,451人 認定こども園 147人 小規模 440人 事業所内 7人 入所児童 3,864人(令和7年4月1日時点) 保育園 3,275人 認定こども園 148人 小規模 411人 事業所内 29人 居宅訪問型 1人 待機児童 9人(R7年4月)、17人(R6年4月)、9人(R5年4月)			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	保育園を希望する家庭が多い中、待機児童の解消に至ってない。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続に加え、待機児童の発生要因を分析し、各年齢による定員配分の見直しを行うなど、待機児童の解消に向けた取組を行う。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	120	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-1 教育・保育の充実のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備				
事業名	認可外保育施設等利用補助事業				
事業概要	認可外保育施設を利用する保護者に対し、補助金を交付する。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推 進に関する課題に対する 対応はどうだったのか)	認可外保育施設に通う児童の保護者が、幼児教育・保育の無償化を受けることがで きる者であることを確認し、認定した。 保育料の無償化分の請求(上限37,000円/月または上限42,000円/月)に対しては、 提出書類を審査し、遅滞なく給付した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	対象施設数 8施設 対象者数 12人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)					
推進に関する課題	無償化の対象となるためには、利用開始日前に認定を受ける必要がある。ま た、原則、償還払いであることから、保護者の請求漏れがないように引き続 き取り組む必要がある。				
令和7年度以降の具 体的取り組み (どんなことを予定して いるか)	無償化の対象となるためにあらかじめ「保育の必要性の認定」を受ける必要があるこ とや施設が無償化の対象であることを確認した上で入園することなどについて、引き 続き周知を図る。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	121	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-1 教育・保育の充実のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ①保育所、地域型保育給付施設の整備				
事業名	家庭保育室補助事業				
事業概要	認可外保育施設で市と指定契約を結んだ施設(家庭保育室)に対する運営費補助を行う。また、保護者に対して、保育料軽減費補助を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	認可外保育施設で市と指定契約を結んだ施設(家庭保育室)に運営費補助金を交付するとともに、家庭保育室を利用した保護者に対して、保育料を補助した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	家庭保育室 市内1か所、市外1か所、合計2か所 年間延べ利用者数(令和6年度) 0歳児 0人(うち、市外施設利用 0人) 1歳児 54人(うち、市外施設利用 0人) 2歳児 75人(うち、市外施設利用 0人) 合 計129人(うち、市外施設利用 0人)		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	認可保育園等との保育料格差が課題。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	認可保育園の定員数増加により、家庭保育室の利用者は減少しているが、家庭保育室の需要が一定数あることから、現行事業を継続していく。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	122	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3－1 教育・保育の充実のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)幼稚園、認定こども園、保育所、小規模保育事業等の充実 ②幼稚園の利用促進					
事業名	幼稚園事業					
事業概要	県等の認可を受けている私立幼稚園（私学助成）に就園する園児の施設利用費を補助するほか、保育の必要性の認定を受けた保護者に預かり保育補助金を交付する。また、低所得者等に副食費を補助する。					
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	満3～5歳児クラスの児童(市民)が在籍する幼稚園に対し、1人当たり月額25,700円を上限に入園料及び利用料を補助した。 保育の必要性の認定を受けた保護者に預かり保育補助金を交付した。 低所得者等に副食費(おかず代)を補助した。					
施策の進捗状況と成果 （令和6年度） 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	私立幼稚園(私学助成)数 23園 私立幼稚園(私学助成)在籍者数 1,684人 預かり保育補助金対象者数 359人 副食費補助金申請者数 254人			
自己評価ランクの理由 （令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）						
推進に関する課題	無償化の対象となるためには、利用開始日前に認定を受ける必要があり、幼稚園で申請書を取りまとめる場合もあるため、幼稚園との連携を図る。また、原則、預かり保育及び副食費の各補助金の支払いについては、償還払いであることから、時効が2年であることを改めて周知し、保護者の請求漏れがないように取り組む必要がある。					
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	私立幼稚園(私学助成)に通う児童の保護者に、幼児教育・保育の無償化の給付を継続するとともに、私立幼稚園に対し、施設利用費を給付する。預かり保育利用料は、償還払いであることから、時効が2年であることを改めて周知し、保護者の請求漏れがないように取り組む。また、副食費については、低所得世帯であることを幼稚園に知られたくないという世帯もあり、幼稚園に対して領収書の発行を促すなど、必要な世帯に必要な支援ができるように取り組んでいく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和6年度） A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	123	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3－1 教育・保育の充実のために					
施策の方向性	施策の方向性(2)放課後児童クラブの充実					
事業名	放課後児童クラブ事業					
事業概要	仕事や疾病等で放課後に児童を保育できない場合に、保護者に代わって、児童を放課後児童クラブで保育する。また、入所保留児童解消のために、各種施策の検討を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	公設クラブへの入所を希望する保護者を選考し、入所/保留を決定した。 公設クラブ10か所について、社会福祉協議会を指定管理者として指定するとともに、民間クラブ12か所に運営費補助金を交付した。 民間クラブ1支援単位分を増員し、10人定員を確保したほか、民間クラブ2施設の定員を見直し、さらに15人定員を増やした。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	C	事業の実施により得られた成果	放課後児童クラブ数 22か所(公設10か所、民間12か所) 入所者数 1,786人(令和6年4月入所) 1,776人(令和5年4月入所) 1,712人(令和4年4月入所) 入所待機者数 225人(令和6年4月入所) 108人(令和5年4月入所) 69人(令和4年4月入所)			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	民間クラブの定員数の増加を図ったが、入所保留児童の解消には至っていないため。					
推進に関する課題	働き方の多様化により、保育園と同様に放課後児童クラブでの保育を必要とする世帯が増えている。一方で、クラブは、小学校区に付随するものであり、学区により需要のばらつきがあるため、状況を注視し、今後の対応を検討する必要がある。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	PTAや放課後児童クラブ父母連絡協議会からは、クラブの増設ではなく、放課後子ども教室など、クラブ以外の児童の居場所づくりを求められていることもあり、庁内の関係部署間で、今後に向けた協議を継続していく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	124	部名	こども・健康部	課名	健康づくり課(こども家庭センター)
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1) 多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	子育て短期支援事業(ショートステイ事業)				
事業概要	保護者の疾病や仕事等により、子どもを養育することが困難になった場合に、一時的に市内の里親宅でその子どもの預かりを行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	保護者からの相談を受けて子どもの状況に合った里親を選定し、里親宅で一定期間養育を行った。 地区里親会の総会や、所沢児童相談所の里親認定調査に同行するなどして、里親に事業への協力を依頼し、10世帯の里親と委託契約を締結した。 委託契約を締結した10世帯のうち、5世帯に事業を委託した。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	令和6年度実績 委託里親5世帯 ショートステイ委託日数90日、委託児童数延べ26人 児童内訳: 2歳未満5人、2歳以上21人 利用目的: レスパイト17件、父母の仕事8件、父母の用事1件		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	ショートステイ事業の市民への周知。 委託里親の確保。 里親制度の広報。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 相談業務を通じ、ショートステイ事業を周知。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	125	部名	こども・健康部		課名	健康づくり課（こども家庭センター）
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3－2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実					
事業名	ファミリー・サポート・センター事業					
事業概要	子どもを預けたい人からの依頼に対し、アドバイザーが子どもを預かる人を斡旋する。子どもを預けたい人、子どもを預かりたい人、両方をしたい人の会員登録するための説明会を開催し、受講が終了した人の会員登録の管理を行う。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	＜令和6年度実績＞ ①入会説明会 【個別説明】随時 【集団説明】3回 ②支援センター出張説明 5回 ③養成講習会 2回(各3日間ずつ) ④ステップアップ講習会 2回(各1日ずつ) ⑤会員交流会 1回 その他、サポート会員の獲得に向け、自治会にも協力を依頼したほか、市広報紙に情報掲載するとともに市HPも適切に更新し、目に届くよう工夫をした。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	会員数(令和6年度末時点)1,933人(前年度比48人増) 【内訳】 ファミリー会員 1,648人(前年度比35人増) サポート会員 205人(前年度比 6人増) 両方会員 80人(前年度比 7人増) 延べ活動回数 5,038回(前年度比37回減)			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	前年度と比較し、サポート会員と両方会員を少しではあるが増やすことができたものの、サポートを必要としているファミリー会員の数に比べるとまだまだ足りていない状況。子どもを預けたい人の要望に十分に対応するため、サポート会員の成り手を増やしていく必要がある。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	サポート会員を増やすために、サポート会員養成講習会を広く周知する。また、市HPや市広報誌のほか、朝霞駅前の掲示板や市内商業施設等への掲示などについても引き続き依頼を行い周知に努める。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	126	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実					
事業名	延長保育事業(時間外保育事業)					
事業概要	保育園を利用する保護者の就労時間の長時間化や通勤範囲の広がり等に伴う、保育時間のニーズを把握し、延長保育の充実をすすめる。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	保育園の開所時間を午後7時まで時間延長(一部の園では午後8時まで)する。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実 施により 得られた 成果	市内保育施設数 72施設 延長保育実施数 午後7時まで 41施設 午後7時30分まで 13施設 午後8時まで 18施設			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が 変わった又はA以外の評 価が連続している場合の み記載)						
推進に関する課題	延長保育料(基本保育時間外)の設定。					
令和7年度以降の具体 的取り組み (どんなことを予定して いるか)	延長保育を利用する保護者があることから、現行事業を継続していく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	127	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3ー2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実					
事業名	一時預かり事業					
事業概要	保護者の就労、病気、育児疲れ解消（リフレッシュ）等の理由により、家庭での保育が困難な小学校入学前の児童を一時的に保育する。また、指定家庭保育室で、保育所と同様に一時保育を実施している場合、保育料を補助する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	公設公営園2園、公設民営園1園、民設民営園1園の計4園で一時預かり事業を実施した。また、幼稚園型Ⅰで一時預かり事業を実施した5園に対し、補助金を交付した。低所得者(住民税非課税世帯)等に対し、保育料を軽減した。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	利用者数 東朝霞保育園(公設公営) R6年度:849人 R5年度:520人 さくら保育園(公設公営) R6年度:1,406人 R5年度:1,006人 仲町保育園(公設民営) R6年度:1,554人 R5年度:1,428人 朝霞どろんこ保育園(民設民営) R6年度:5人 R5年度:28人			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)						
推進に関する課題	配慮の必要な子どもが利用しやすい環境を整えるなど、利用したい人が利用できるように制度を充実させる必要がある。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	保育園と幼稚園以外の一時預かりとして、普段から親子で利用している、通いなれた子育て支援センターでの一時預かり事業を開始する。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	128	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために				
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実				
事業名	休日保育事業				
事業概要	休日に保護者の就労等で保育を必要とする児童を対象に、保育所において保育を行う。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	年末年始(12月29日～1月3日)を除く日曜、祝日などに保育園において保育を実施した。 実施保育園:仲町保育園				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	実施保育園 仲町保育園 対象児童 8か月～5歳 利用者数(延べ) 令和6年度:504人 令和5年度:417人		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	利用者との連携を図り、必要な連絡、確認等に関して十分な対応が行えるよう、改めて周知を図っていく。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	129	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3ー2 ライフスタイルに応じた子育て支援のために					
施策の方向性	施策の方向性(1)多様なニーズにこたえる子育て支援の充実					
事業名	病児保育事業					
事業概要	児童が急な病気となり、保育所等が利用できず、また、保護者も就労などにより、保育ができない場合に、病院などに併設される専用の保育室で、看護師等が一時的に児童を保育する。					
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	病児保育室たまご(運営主体:TMGあさか医療センター)にて病児保育を実施した。生活保護受給世帯等が病児保育を利用した場合に、利用料を補助した。					
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	病児保育室たまご 新規登録者数 R5年度: 60人 R5年度:94人 R4年度:52人 利用者数 R6年度:118人 R5年度:117人 R4年度:43人			
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	市民を優先的に受け入れてもらうように協定を結んでいることから、急な病気により保育所等が利用できない児童に対して保育を提供でき、利用者数は増加傾向にあるが、事前の登録が必要であることなど、引き続き、制度の周知が必要である。					
推進に関する課題	事前の登録が必要であることから、利用方法や利用条件の周知徹底を図る。					
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	市HPのほか、保育課のSNS等を活用して広く制度を周知し、病児保育の利用を必要とされる方が、必要な時に利用できるようにする。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	130	部名	こども・健康部	課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-3 教育・保育の質を高めるために				
施策の方向性	施策の方向性(1)教育・保育に携わる人材の確保・資質向上				
事業名	保育士研修事業				
事業概要	県や関係機関等の主催する各種研修会等への保育士の派遣や、内部での研修会などを開催し、職員等の資質の向上を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	県や関係機関等の主催する各種研修会等に保育士を派遣。 保育園等の職員を対象とした保育園職員研修会を実施。				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	各種研修会等への保育士の派遣:134人 保育園職員研修会:計4回開催、770人(公立678人・民間92人)		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)	各種研修会等への参加を通じて、職員等の資質の向上に繋げることができた。				
推進に関する課題	保育園職員研修会等の開催や各種研修会への保育士の派遣の継続。				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	現行事業の継続。 令和6年度も引き続き、民間保育所にも研修の案内を行う。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A:着実に進捗している B:ある程度進捗している C:進捗が順調でない D:進捗していない		コメント			

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート						
事業番号	131	部名	こども・健康部		課名	保育課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち					
基本方針	基本方針3－3 教育・保育の質を高めるために					
施策の方向性	施策の方向性(1)教育・保育に携わる人材の確保・資質向上					
事業名	保育士等人材確保事業					
事業概要	市内の認可保育園や小規模保育施設における保育士等の不足解消及び放課後児童クラブ指導員を確保するため、就職を希望する方（学生・転職・再就職）を対象として、合同の保育園職員・放課後児童クラブ指導員就職相談会を実施する。					
具体的な事業内容 （どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか）	市内の保育園等の魅力や保育理念並びに運営などを知っていただくため、合同の就職相談会を実施する。					
施策の進捗状況と成果 （令和6年度末） 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	新型コロナウイルスの感染対策を行いながら、11法人が参加し就職相談会を実施することができた。 参加者数:46名(令和6年度)			
自己評価ランクの理由 （前年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載）	ハローワーク朝霞や埼玉県雇用対策協議会との連携や、産業振興課主催の「就職支援セミナー」を同時開催などを行い、就職相談会を開催した。すべての法人ブースで相談が行われ、職員の採用に繋げることができた。					
推進に関する課題	学生の就職活動に合わせた周知方法の変更。					
令和7年度以降の具体的な取り組み （どんなことを予定しているか）	現行事業の継続。 前年度同様に、公立保育園で学生の保育実習を受け入れている大学などへの周知やX(エックス)による周知を行っていく。					
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 （令和4年度） A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント				

第2期子ども・子育て支援事業計画 《次世代育成支援行動計画:関連事業》 進捗管理シート					
事業番号	132	部名	学校教育部	課名	教育指導課
基本目標	基本目標3 すべての子どもが質の高い教育・保育を受けるまち				
基本方針	基本方針3-3 教育・保育の質を高めるために				
施策の方向性	施策の方向性(1)教育・保育に携わる人材の確保・資質向上				
事業名	小学校と幼稚園・保育所の連携				
事業概要	・「朝霞市幼児教育振興協議会」を中心とし、保育園見学、小学校生活科の授業公開、小学校教員と保育園・幼稚園・こども園の職員との情報交換会等を行い、保幼小の連携を図る。				
具体的な事業内容 (どんなことを実施したか また、前年度における推進に関する課題に対する対応はどうだったのか)	①「令和6年度朝霞市幼児教育振興協議会に係る幼・保・小合同研修会および保育園見学会」 令和7年2月6日・2月10日・2月14日・2月25日 市内保育園4園公開 ②「令和7年度小学校入学に係る保幼小連絡会」朝霞市民会館にて開催。 小学校教員と保育園・幼稚園・こども園の職員との情報交換会を実施。 令和7年1月31日 ③生活科授業参観・合同研修会 11月22日 (朝霞五小)				
施策の進捗状況と成果 (令和6年度) 自己評価ランク A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない	A	事業の実施により得られた成果	・幼児教育と小学校教育に携わる教員・職員間で、情報共有を図り、指導に生かすことができた。 ・「令和7年度入学に係る保幼小連絡会」を開催し、新就学時に 関する情報共有を図ることができた。		
自己評価ランクの理由 (令和5年度と自己評価が変わった又はA以外の評価が連続している場合のみ記載)					
推進に関する課題	特になし				
令和7年度以降の具体的な取り組み (どんなことを予定しているか)	・「令和7年度朝霞市幼児教育振興協議会に係る生活科授業参観・合同研修会及び生活科主任研修会」の会場は朝霞第四小学校の予定。 ・「令和8年度小学校入学に係る保幼小連絡会」令和8年1月下旬に開催予定。 ・「幼稚園見学」(小学校教員対象)を3学期(1～2月)に実施の方向で準備中。				
子ども・子育て会議 進捗状況 確認欄 (令和6年度) A: 着実に進捗している B: ある程度進捗している C: 進捗が順調でない D: 進捗していない		コメント			

子ども・子育て支援事業計画 支援事業 評価シート

評価者氏名 _____

子ども・子育て支援事業計画（支援事業）評価シートは、15の事業計画について、全ての委員に評価（A・B・C・D）と理由を記載いただくものです。（令和6年度実績）

事業番号	評 価	理 由
5		
6－（１）		
6－（２）		
6－（３）		
6－（４）		
6－（５）		
6－（６）		
6－（７） ①		

提出物 1 : 必須

事業番号	評 価	理 由
6－(7) ②		
6－(8)		
6－(9)		
6－(10)		
6－(11)		
6－(12)		
6－(13)		

※全員提出となります。

※すべての事業について、評価（コメントはある場合のみ）を御記入ください。

10月10日（金）までに、こども未来課へ御提出ください。

こども未来課 宛

氏名 _____

質問票

事業（複数回答可、質問する事業番号に○をつけてください）	
【支援事業】	
5	幼児期の学校教育・保育の提供
6-(1)	延長保育事業（時間外保育事業）
6-(2)	放課後児童クラブ
6-(3)	子育て短期支援事業（ショートステイ事業）
6-(4)	乳児家庭全戸訪問事業
6-(5)	養育支援訪問事業及び要保護児童支援事業
6-(6)	地域子育て支援拠点事業
6-(7)-①	一時預かり事業（幼稚園）
6-(7)-②	一時預かり事業（保育園等）
6-(8)	病児保育事業
6-(9)	ファミリー・サポート・センター事業
6-(10)	妊婦健康診査
6-(11)	利用者支援事業
6-(12)	実費徴収に係る補足給付を行う事業
6-(13)	多様な事業者の参入促進・能力活用事業
【関連事業】	
・ (	事業番号・事業名をご記入ください)
・ (	事業番号・事業名をご記入ください)
・ (	事業番号・事業名をご記入ください)



事業番号 (○をつけた事業)	上記事業の質問内容（質問内容を御記入ください）	インタビュー 希望
		有 ・ 無
		有 ・ 無
		有 ・ 無
		有 ・ 無
		有 ・ 無

○各事業についての詳細や疑問等、質問がありましたら、**9月12日（金）まで**にこの質問票を御持参いただくか返信用封筒で郵送してください。事業担当課に確認し、回答の御連絡をします。

※各事業について、担当課に質問等がある場合のみご提出ください。

子ども・子育て支援事業計画 関連事業 評価コメントシート

評価者氏名 _____

この子ども・子育て支援事業計画評価コメントシートは、事業担当課と評価は同じですが、意見やコメントを残したい場合に、事業番号とコメント等を記載いただくものです。

※特にコメント等がない場合は、提出不要です。

※質問については、こちらの用紙ではなく「質問票（提出物2）」に御記入ください。

事業番号	コメント

提出物 3 : 任意

事業番号	コメント

※特にコメント等がない場合は、提出不要です。

※質問については、「質問票（提出物 2）」に御記入ください。

提出物 4 : 任意

子ども・子育て支援事業計画 関連事業 評価検討シート

評価者氏名

この子ども・子育て支援事業計画評価検討シートは、事業担当課と委員の意見が異なる場合に事業番号、評価（Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ）と理由を記載いただくものです。

※事業担当課と異なる評価をしない場合は、提出不要です。

※質問については、こちらの用紙ではなく「質問票（提出物2）」に御記入ください。

[illegible]

提出物 4 : 任意

事業番号	評 価	理 由

※事業担当課と異なる評価をしない場合は、提出不要です。

※質問については、「質問票（提出物 2）」に御記入ください。

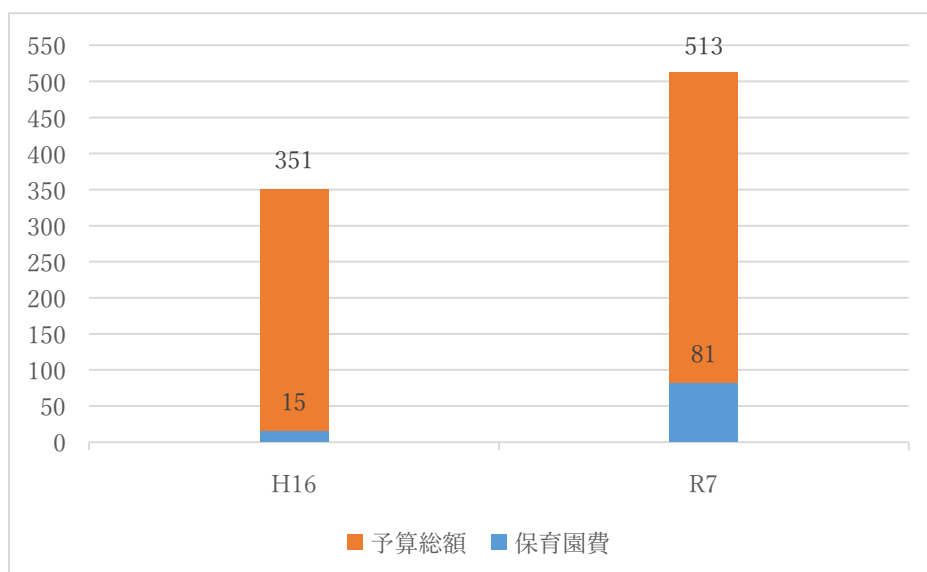
公立保育園の今後のあり方について

【目的】

本市では、全てのこども・若者が幸せな状態で生活できる「こどもまんなか社会」を実現するため令和7年3月に「朝霞市こども計画」を策定した。今後は計画に基づき様々なこども・若者施策を推進していくことになるが、多額の財源が必要になると想定される。

そのため、現予算で児童福祉費のおよそ6割を占める保育園費の圧縮が求められる。中でも公立保育園は、平成16年度に公立保育園に対する国県の補助金が廃止されて以降、市の財政を圧迫し続けている。また、近年は国の保育施策も量の拡大（待機児童対策）から質の強化にシフトしつつあるため、既存施設の運営を最適化したうえで、新たな子育て支援施策や良質な保育を市民に提供していく必要がある。

□予算総額に占める保育園費の比較



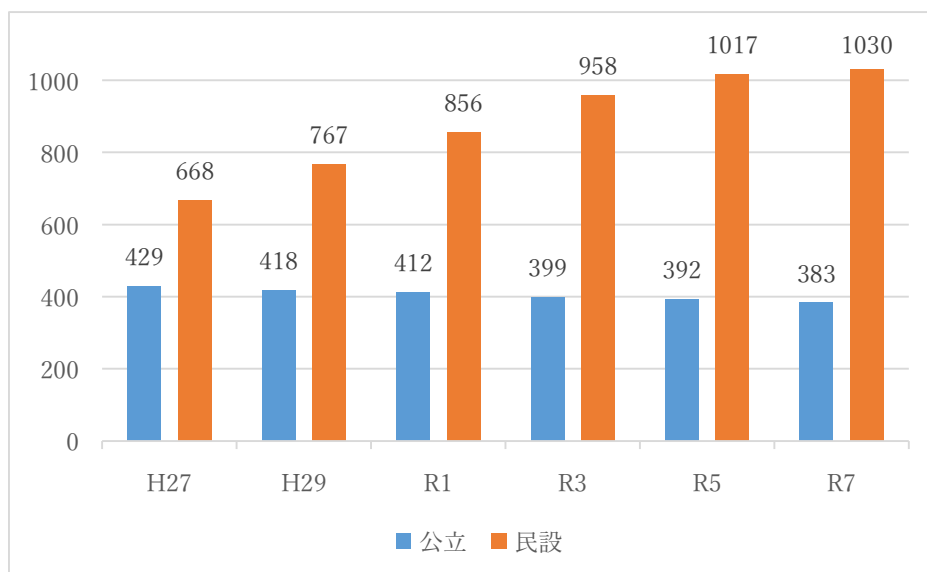
※金額は億円

- ・予算総額に占める保育園費の割合は約4倍に増加している
4.2% → 15.7%

□朝霞市の保育施設状況(R7)

公立保育園	11園(うち2園が公設民営)
民設保育所	34園 ※平成27年度は21園
認定こども園	2園
小規模保育施設	25園
事業所内保育施設	1園

□埼玉県内保育所数の推移



- ・待機児童対策のため保育所自体の数は増加している
- ・民設保育所は大きく増加しているが、公立保育所は減少している
平成16年度から公立保育所への運営費補助がなくなり、
市町村の財政負担を減らすためと考えられる
- ・近隣では、志木市が令和元年度に1園を民設化、令和 8 年度に2園を廃止予定
和光市は令和4年度に公立1園を民設化

【今後について】

□R7年度

・9月以降

保育園等運営検討部会で審議

↓

第3回子ども・子育て会議で報告

朝霞市育成保育等実施要綱 及び 医療的ケア児の保育園等受入れガイドラインの改正

1 育成保育、一般申請加配保育、医療的ケア児について

- ・育成保育 :朝霞市の育成保育は、心身に障害等がある児童について小学校就学を支援するという福祉的観点から、保育士等の加配を行い実施する統合保育。
- ・一般申請加配保育:保育所等に入所が内定し、又は入所した要配慮児童に対し、保育士等の加配を行い実施する統合保育。
- ・医療的ケア児保育:医療的ケアが日常的に必要な子どもに対し、看護師等の加配を行い実施する統合保育。
- ※統合保育 :心身の障害にかかわらず、子どもたちが保育所等において共に育ち合う中で、お互いを分かり合い、助け合える豊かな人間性を育み、安全で健やかに生活できることを目的とした保育。

※要綱等の制定状況

平成13年度 朝霞市育成保育実施要綱制定【育成保育のみ規定】

令和2年度 医療的ケア児の保育園等受け入れガイドライン発行(朝霞市)

令和3年度 朝霞市育成保育等実施要綱制定【加配保育、医療的ケア児保育を追記】

2 現在の育成保育等の児童数

	育成保育	加配保育	医療的ケア児	(参考)在園児童数
令和4年度	21	98	1	3,701
令和5年度	21	121	1	3,786
令和6年度	18	145	1	3,879

※育成保育、加配保育、医療的ケア児は各年度3月時点、在園児童数は4月時点。

3 改正の方向性案

(1)朝霞市育成保育等実施要綱

- ・要綱名称の変更の検討。
- ・育成保育、一般申請加配保育、医療的ケア児の定義の整理。
- ・医療的ケア児保育の実施施設や対象児童などの規定を追加。
- ・育成保育及び医療的ケア児保育の対象年齢の整理。

(2)医療的ケア児の保育園等受入れガイドライン

- ・対象年齢の整理。
- ・実施施設について公設園としているが、民設園を追加。
- ・定員に関する記述を追加。

4 主に医療的ケア児の保育園等受入れガイドラインの検討状況

令和5年度 公設園長と改正事項の洗い出し、さいたま市視察

令和6年度 公設園長とガイドライン改正案の作成、看護師アンケートの実施

令和7年度 7月まで 公設園長とシミュレーション、溝沼保育園の施設・設備の確認

8月 保育所等合同園長会での説明、受入れ相談等アンケート